every stage™

ジョイー チャイルドシート **エブリステージ**

取扱説明書／保証書

適 合 基 準 ： ECE R44/04 G0+/1/2/3
適 応 体 重 ： 2.5kg から 36kg まで
年齢の目安 ： 新生児から 12 歳頃まで

⚠ 必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください 2
ユーザー登録のお願い 2
チャイルドシートについて 2
自動車との適合について 2
使用に関するアドバイス 3
本製品の情報 3
表記の説明 4
危険・警告・注意の表記について 4
強調・禁止の表記について 4
その他の表記について 4
本取扱説明書で使用するイラストについて 5
使用できるお子さまの条件 6
自動車の座席への取り付けに関して 7
取り付け、使用できない座席 7
取り付けが可能な座席と不可能な座席 10
自動車シートベルトの種類の確認 10
内容物の確認 11
各部の名称 12
本製品に関わる部位、部品の名称 12
自動車に関わる部位、部品の名称 13
使用上の注意事項 14
緊急時の操作 22
自動車の座席への影響について 22
基本的な使いかた 23
バックルの使いかた 23
バックルの外しかた 23
バックルの留めかた 23
リクライニングの使いかた 24
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節 25
肩ベルトの長さ調節 25
肩ベルトのゆるめかた 25
肩ベルトの締めつけかた 26
サイドインパクトシールドの使いかた 27
ベビーモードでの使いかた 28
ソフトパッドの使用 28
ソフトパッドの取り付け・取り外し 28
ボディサポートの調節 30
リクライニングの調節 31
肩ベルトの高さ調節 31
座席への取り付けかた 32
お子さまの座らせかた 36
お子さまの降ろしかた 37
トドラーモードでの使いかた 39
ソフトパッドの取り外し 39
リクライニングの調節 40
肩ベルトの高さ調節 40
座席への取り付けかた 41
お子さまの座らせかた 45
お子さまの降ろしかた 47
ジュニアモードでの使いかた 48
ソフトパッドの取り外し 48
リクライニングの調節 48
乳幼児ベルトの格納 49
ヘッドレストの高さ調節 52
自動車の座席への設置 52
お子さまの座らせかた 53
お手入れのしかた 55
ソフトパッドの取り外し 55
シートカバーの取り外し 56
取り外しの準備 56
ヘッドレストのカバーを取り外す 56
シートのカバーを取り外す 58
お手入れ方法 59
パッド、カバー類の洗いかた 59
ベルト類・本体のお手入れ 60
受けバックル・差込タングのお手入れ 60
保管のしかた 61
廃棄のしかた 61
保証書 63

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。
このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお 願いいたしており ます。
お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。
また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。
本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。
また、どれほど短い距離どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

本製品は、シートベルトの基準である ECE-R16、または同等の基準に適合した自動車の座席の 3 点式シー トベルトに よって自動車の座席に固定して使用します。
ただし、3 点式シートベルトが装備された座席でも、シートベルトの種類、座席のサイズ、自動車バックルの形状、製造工場、製造時期等の条件によっては使用できない場合があります。
また、本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではなく、車種や座席によっては取り付けができない場合もあります。
本製品が取り付けられる自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。
なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

http://www.katoji.co.jp/

20170217 everystage rev 20.indd 2 2017/02/17 14:44:18

使用に関するアドバイス

お子さまにチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。
また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。
長距離を走る場合、最低でも１時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。
本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

本製品の情報

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE-R44/04に適合するチャイルドシートです。ECE-R44/04の基準ユニバーサル仕様のチャイルドシートに対応したほとんどの自動車の座席に取り付けて使用できますが、すべての座席に取り付けて使用できるとは限りません。

自動車の取扱説明書において、適合年齢グループ用のユニバーサル仕様チャイルドシートを取り付けて使用可能と指示している場合、本製品が使用できる可能性があります。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱い販売店にお問い合わせください。

製品の種類	チャイルドシート
適応体重	体重 2.5kg から 36kg まで
製品グループ	ユニバーサル Group 0+/1/2/3
主な原材料	樹脂・金属・繊維
パテント番号	特許出願中

20170217 everystage rev 20.indd 3 2017/02/17 14:44:18

表記の説明

本取扱説明書では､本製品を使用するにあたって特にご注意･留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。
この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
⚠危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
⚠警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
⚠注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
○	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
×	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

その他の表記について

表記	表記の内容
☞ポイント！	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

20170217 everystage rev 20.indd 4 2017/02/17 14:44:19

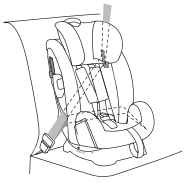
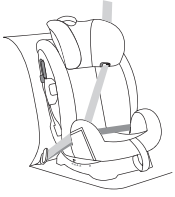
本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

20170217 everystage rev 20.indd 5 2017/02/17 14:44:19

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。
本製品は、ECE-R44/04（ヨーロッパ統一規則）のユニバーサル仕様、グループ 0+,1,2,3 に適合しており、体重 2.5kg から 36kg までのお子さまにご使用いただけます。
体重 2.5kg から体重 18kg 未満の間は、本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに取り付けて使用し、生後 6 ヵ月まではすべてのソフトパッドを取り付けた状態で使用してください。体重 9kg（目安年齢 1 歳頃）からは、本製品を自動車の進行方向に対して前向きに取り付けて使用することもできます。体重 15kg から 36kg までは、本製品の乳幼児ベルトを使用せず、自動車のシートベルトを装着して使用します。それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

使用できる期間 お子さまの体重	取り付けの向き	リクライニング	ソフトパッドの使用
ベビーモード **2.5kg~18kg まで** 目安年齢：新生児～ 4 歳頃	 後ろ向き取り付け	5 6 青色の▲ 5 /6 のいずれか お子さまの首がすわる（生後 4 ヵ月頃）までは、本製品を自動車の座席に取り付けた際に、お子さまの体勢が水平（頭と足が水平）に近くなる方に調節してご使用ください。 ※必ずしも水平になるものではありません。	生後 6 ヵ月までは 使用すること ●生後 6 ヵ月頃まではすべてのソフトパッドを使用すること。 ●それ以降は、お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。
トドラーモード **9kg~18kg まで** 目安年齢：1 歳頃～ 4 歳頃	 前向き取り付け	1 2 3 4 赤色の▲ 1~4 のいずれか	使用不可
ジュニアモード **15kg~36kg まで** 目安年齢：3 歳頃～ 12 歳頃	 前向き取り付け	1 2 3 4 赤色の▲ 1~4 のいずれか	使用不可

ポイント！

後ろ向き、前向き取り付けにおいて、使用できる期間が重複する間は、お子さまの体格に応じて、また、年齢を目安として、モードを選んでご使用ください。

⚠警告

本製品の適合する ECE 基準は、使用可能な期間をお子さまの体重によって規定しています。取り付けの向きは、必ず、使用できる期間の範囲に従ってください。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

20170217 everystage rev 20.indd 6 2017/02/17 14:44:19

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用できない座席

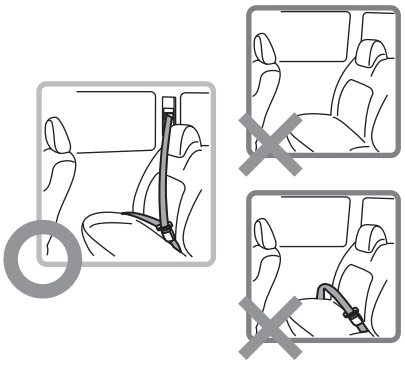
本製品は、自動車の座席の 3 点式シートベルトによって固定して使用します。ただし、3 点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。
また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

⚠危険 以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3 点式シートベルト以外の座席

本製品は、3 点式シートベルトによる取付専用のチャイルドシートです。自動車シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2 点式シートベルト、5 点式シートベルトでは使用できません。必ず、3 点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

⚠危険

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じますので、フロントエアバッグが装備された座席では絶対に使用しないでください。
万が一の事態に備え、フロントエアバッグの機能を解除できる座席でも使用しないでください。

助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的シートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では本製品を使用できません。

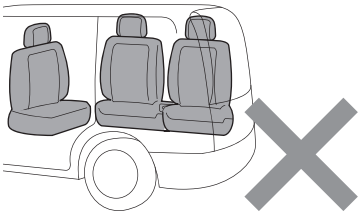
20170217 everystage rev 20.indd 7 2017/02/17 14:44:19

⚠危険

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

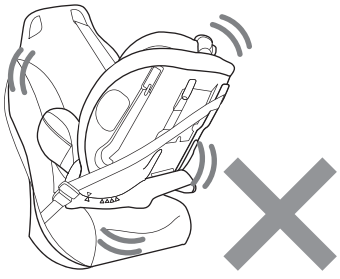
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。



本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。

また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。

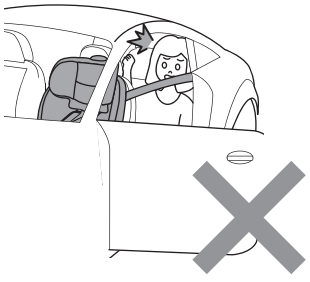


⚠危険

乗員の脱出に影響を与える座席

2ドア車の助手席や、片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。なお、本製品では助手席への取り付けは禁止しております。

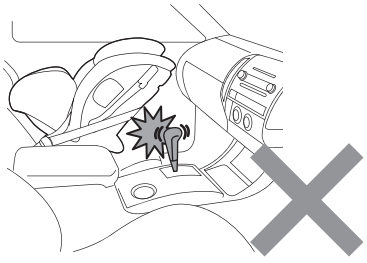
実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定し、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

本製品は、助手席では使用しないでください。



20170217 everystage rev 20.indd 8 2017/02/17 14:44:20

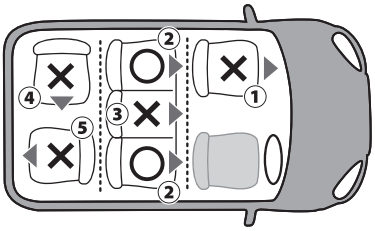
⚠危険

その他、しっかりと取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、座席のシートベルトの長さ、シートベルトのバックルの高さや前後の位置、などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では、使用できません。

20170217 everystage rev 20.indd 9 2017/02/17 14:44:20

取り付けが可能な座席と不可能な座席



①助手席
取り付け、使用してはいけません。

② 2 列目以降、左右ドア側座席
取り付け可能です。

③ 2 列目以降、中央座席
取り付け、使用してはいけません。

④進行方向に向かって横向きの座席
取り付け、使用してはいけません。

⑤進行方向に向かって後ろ向きの座席
取り付け、使用してはいけません。

自動車シートベルトの種類の確認

本製品は、ECE　R16 に準拠した 3 点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するように設計されております。
3 点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている 3 点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	注意点
ALR 自動ロック式ベルト巻取装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	✕	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式ベルト巻取装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	✕	取り付けできません。
AELR チャイルドシート固定機構付ベルト巻取装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、チャイルドシート固定機構（ALR）に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	シートベルトを最後まで引き出すと危険です。必ず、シートベルトを一度巻き戻してチャイルドシート固定機構（ALR）を解除して取り付けてください。
その他	パッシブシートベルト・2 点式・5 点式シートベルトなど。	✕	取り付けできません。

⚠危険

シートベルトの種類が適合していても、P7「取り付け、使用できない座席」に該当する座席には本製品を取り付けてはいけません。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付けや使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

ポイント！

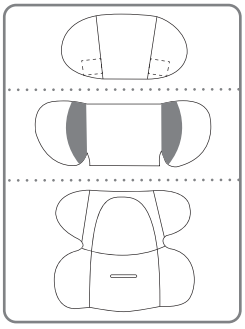
中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

20170217 everystage rev 20.indd　10　　2017/02/17　14:44:20

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

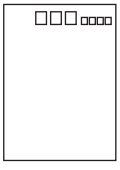
本体



ソフトパッド

本体に取り付けられています

本書



ユーザー登録はがき

⚠警告

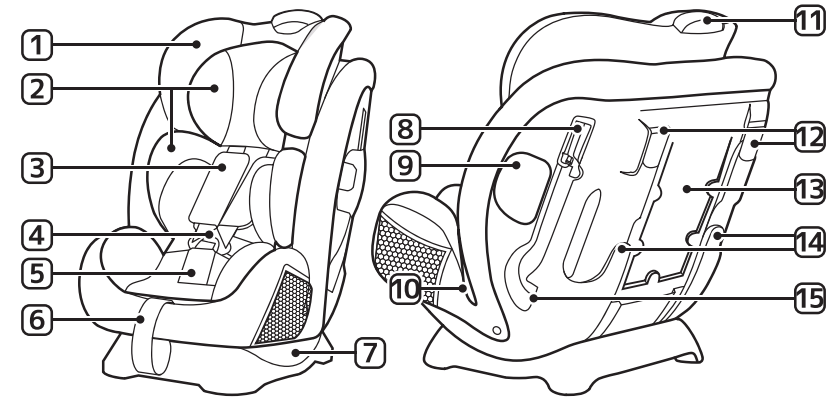
お子さまがかぶる、口に入れるなどすると、窒息するおそれがあります。本製品のビニール袋などの梱包材は、開封後は直ちに破るなどした上で、お子様の手の届かないところに廃棄してください。

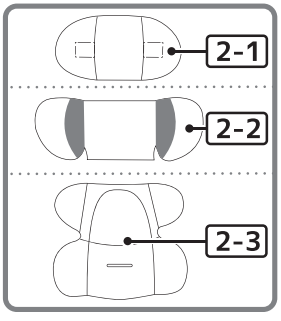
20170217 everystage rev 20.indd 11 2017/02/17 14:44:21

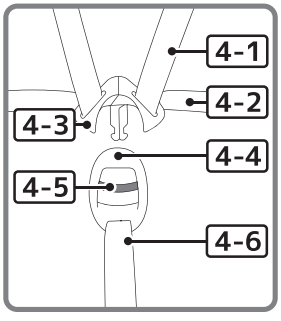
各部の名称

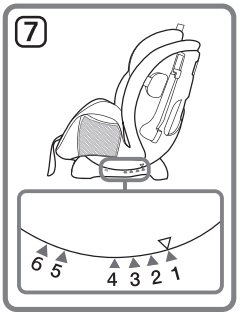
本製品に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。







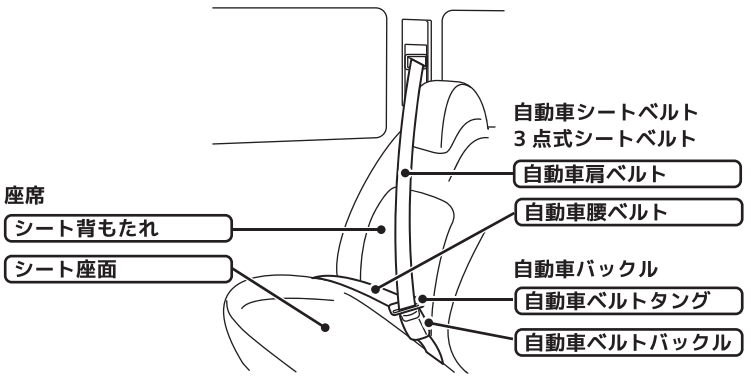


1 ヘッドレスト	12 バックロックオフ	2-1 ヘッドサポート
2 ソフトパッド（上図）	13 取扱説明書ホルダー	2-2 ショルダーサポート
3 肩ベルトパッド	14 肩ベルトパス	2-3 ボディサポート
4 バックル／乳幼児ベルト（上図）	15 バックベルトパス	
5 股ベルトパッド		4-1 肩ベルト
6 アジャストベルト／アジャストボタン		4-2 腰ベルト
7 リクライニングの段階（上図）		4-3 差込タング
8 サイドロックオフ		4-4 受けバックル
9 サイドインパクトシールド		4-5 バックルボタン
10 腰ベルトパス		4-6 股ベルト
11 ヘッドレストアジャストレバー		

20170217 everystage rev 20.indd 12 2017/02/17 14:44:21

自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



20170217 everystage rev 20.indd 13 2017/02/17 14:44:21

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。
ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

⚠危険

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。
正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準の ECE R44/04 に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き取り付け、前向き取り付け）とそれに応じた使用可能なお子さまの体重の範囲、ソフトパッドの使用期間が、定められています。必ず、P6 の「使用できるお子さまの条件」の指示に従ってご使用ください。

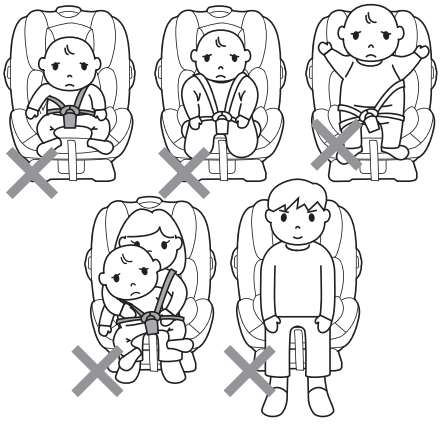
体型が合わない場合は使用しないこと

お子さまの体重が P6 の「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、または本製品を調整してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。

⚠危険

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調整して、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、乳幼児ベルト、自動車シートベルトを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



体重 9kg までは、前向き取り付けで使用しないこと

お子さまの体重が 9kg 以上になるまでは、本製品を、自動車の進行方向に対して後ろ向きで取り付けて使用してください。前向き取り付けはしないでください。

リクライニングを正しく調節すること

お子さまの体重により、本製品の取り付けの向きとリクライニングの角度が異なります。リクライニングの角度は、お子様の体重に応じて本書の指示通りに調節してください。

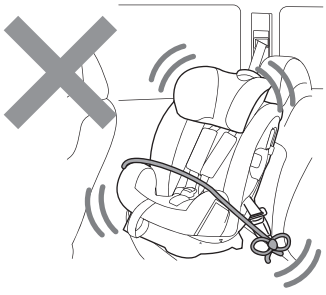
20170217 everystage rev 20.indd 14 2017/02/17 14:44:22

⚠危険

指定する方法以外での取り付けをしないこと

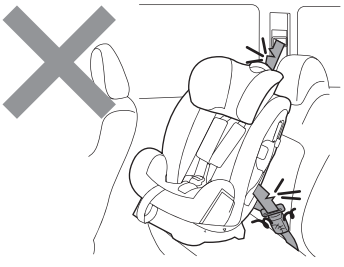
本製品は、適合する車種の 3 点式シートベルトで取り付けて使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、自動車シートベルト以外のもので本製品を固定してはいけません。

また、自動車シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。自動車シートベルトによって本製品が自動車の座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、自動車シートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



損傷した自動車シートベルトでの取り付け、使用をしないこと

損傷している自動車シートベルト（自動車ベルトタング、自動車ベルトバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に自動車シートベルトが切断したり自動車バックルが外れたりして、本製品が座席から外れ、重大な事故につながるおそれがあります。



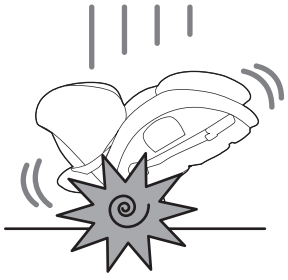
⚠危険

本取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本取扱説明書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

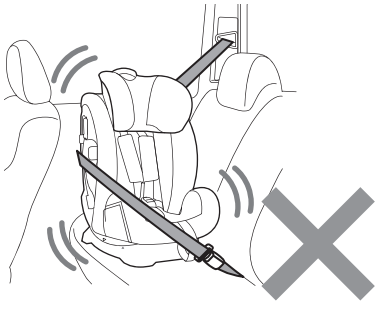
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

本製品は、お子さまの体重により、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、後ろ向き、または前向きに取り付けて使用します。横向き、など本取扱説明書において指示していない向きで座席に取り付けてはいけません。

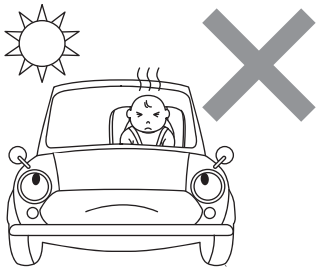


20170217 everystage rev 20.indd 15 2017/02/17 14:44:22

⚠危険

お子さまを車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、乳幼児ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解するまでは本製品を使用しないこと

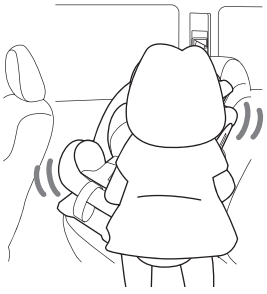
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。

⚠警告

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

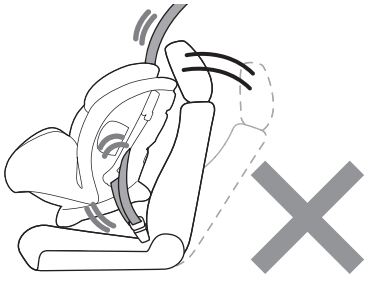
走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車シートベルトや他の部品に触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性がありますので、走行前には、毎回、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作または座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の取り付けの状態を確認すること

本製品を取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後には、必ず、本製品の取り付けの状態を確認し、ゆるんでしまっていた場合には、本製品を取り付けなおしてください。

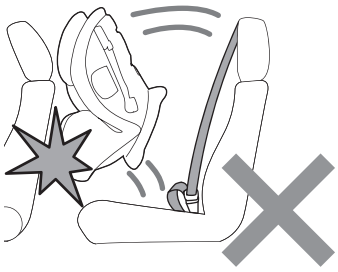


20170217 everystage rev 20.indd 16 2017/02/17 14:44:23

⚠警告

車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

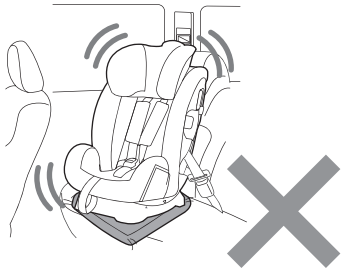
お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

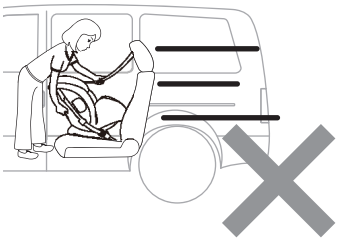
本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



⚠警告

走行中は、本製品を操作しないこと

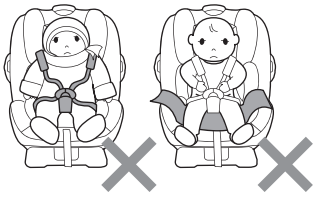
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



不適切な着衣では使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調整してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしかないでください。

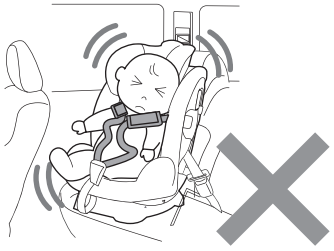


20170217 everystage rev 20.indd 17 2017/02/17 14:44:23

⚠警告

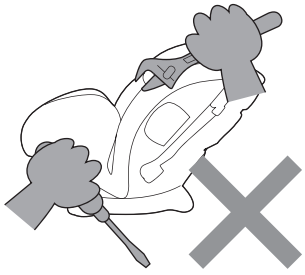
ベルト類がゆるんだり、ねじれたりした状態で使用しないこと

自動車シートベルト、乳幼児ベルトが緩んだ状態、ねじれた状態で使用してはいけません。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が座席から外れるおそれがあります。また、これらのベルト類がゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。
ベルト類は、本取扱説明書の指示に従い、正しくお使いください。



本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



自動車シートベルトを正しく使用すること

ジュニアモードで使用する場合、自動車シートベルトを正しく使用してください。
自動車肩ベルトの高さを適切に調節し、自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るようにしてください。

⚠警告

パッド類、カバー類などの部品を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。カバー類や、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため使用してはいけません。
安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

本製品に過度の負担を掛けないこと

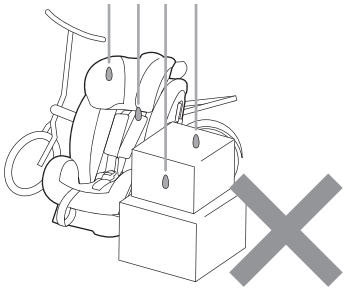
本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。

20170217 everystage rev 20.indd 18 2017/02/17 14:44:23

⚠警告

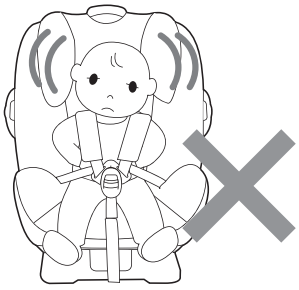
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



ソフトパッドを正しく使うこと

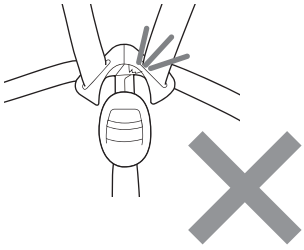
お子さまを正しく固定するため、ソフトパッドは使用期間を守り、正しく使用してください。
お子さまが成長し、極端に窮屈にならない限り、生後６ヵ月までは、ソフトパッドを取り付けて使用してください。



⚠警告

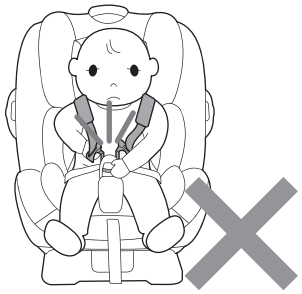
バックルや乳幼児ベルトに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、乳幼児ベルトに損傷がある、乳幼児ベルトを締めつけることができない、など、バックルや乳幼児ベルトに異常が生じた場合は、ただちに本製品の使用を中止してください。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、適宜、バックルが正しく留まっていることを確認してください。

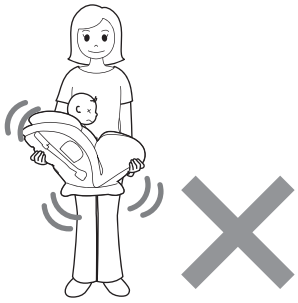


20170217 everystage rev 20.indd 19 2017/02/17 14:44:24

⚠警告

お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げないこと

お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



本来の目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、条件に適合した自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。電車やバス、飛行機内で使用したり、通常の椅子として使用したり、買い物カートに載せて使用するなど、本来の目的外では使用しないでください。

乳幼児ベルトやバックルを座席のリクライニングやドアで挟まないようにすること

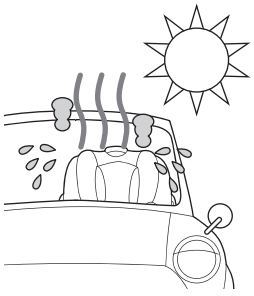
自動車のドアやシートに傷が付くばかりか、乳幼児ベルトやバックルが損傷し、バックルが正常に機能しなくなるおそれがあります。

⚠注意

⚠注意 以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

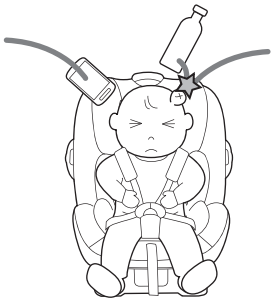
部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

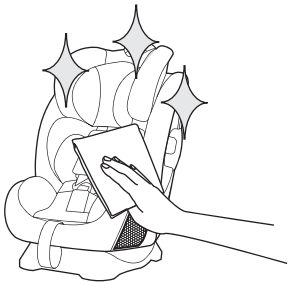


20170217 everystage rev 20.indd 20 2017/02/17 14:44:24

⚠注意

適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメインテナンスの際に、バックルや、差込タング、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

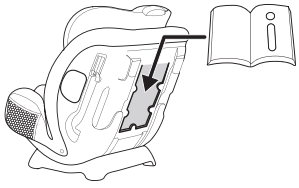


長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。
また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも１時間に１度は休憩をとるようにしてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるよう、本書は、本体背面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。



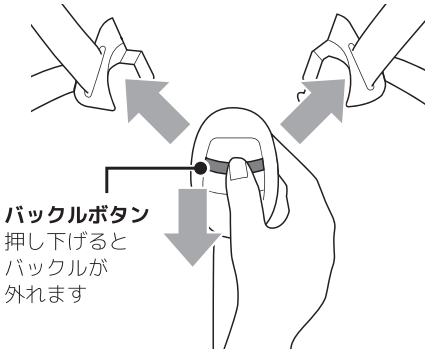
長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

20170217 everystage rev 20.indd 21 2017/02/17 14:44:24

緊急時の操作

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、乳幼児ベルトや自動車シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



自動車の座席への影響について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強くしっかりと取り付けられる必要があり、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承願います。当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。

⚠警告

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

20170217 everystage rev 20.indd 22 2017/02/17 14:44:25

基本的な使いかた

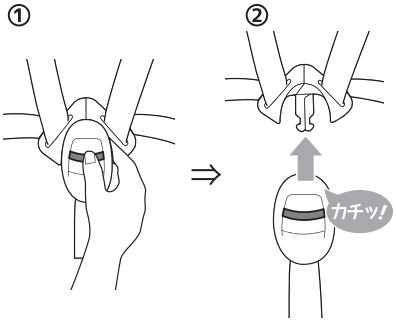
本製品は、お子さまの成長に合わせて、ベビーモード、トドラーモード、ジュニアモードの 3 種のモードで使用します。それぞれのモードにより、取り付け方法、使用方法が異なります。
ここでは、いずれのモードにおいても共通する基本的な操作、また、重要な操作について説明します。

バックルの使いかた

ベビーモード、トドラーモードで使用します。
ジュニアモードでは、本製品のバックルは使用しません。

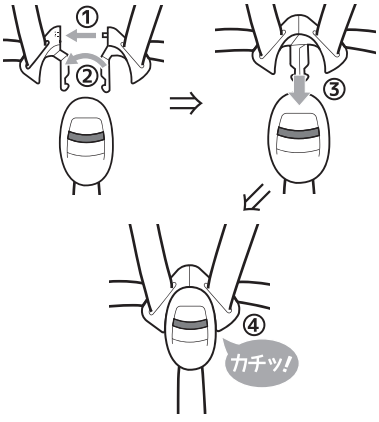
バックルの外しかた

01 バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②カチッと音がして、差込タングが外れます。



バックルの留めかた

01 ①向かって右の差込タング上部の突起を、左の差し込み穴に差し入れ、②右の差込タングを、左の差込タングに重ねるようにします。③そのまま、受けバックルに差し入れ、④カチッと音がするまで差し込みます。



02 軽く肩ベルトを引いて、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

⚠危険

バックルは正しく留めること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 23 2017/02/17 14:44:25

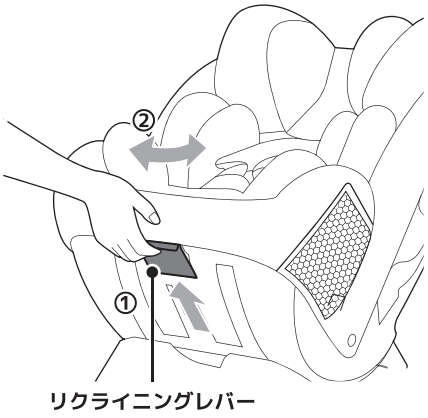
リクライニングの使いかた

本製品には、お子さまを快適にするため、チャイルドシートの背もたれの角度を調節できる、リクライニング機能が装備されています。
お子さまの体重や、取り付けの向きによって、調節可能なリクライニングの角度が決まっています。

⚠危険

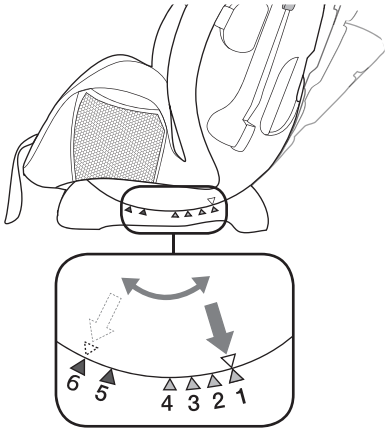
リクライニングを正しく調節すること
お子さまの体重により、本製品の取り付けの向きとリクライニングの角度が異なります。リクライニングの角度は、お子様の体重に応じて本書の指示通りに調節してください。

01 シート先端の裏側にある、①リクライニングレバーを握り、②リクライニングの角度を調節します。



リクライニングレバー

02 リクライニングは、6 段階で調節します。必ず、下図を参照して、各モードで使用可能な段階に調節してください。
青色の▲マーク（5/6）は、ベビーモード。
赤色の▲マーク（1 ～ 4）は、トドラーモードとジュニアモードで使用します。



ベビーモード　2.5kg~18kg まで
目安年齢：新生児～ 4 歳頃

後ろ向き取り付け

使用可能なリクライニングの段階
5 6
青色の▲：5 /6 のいずれか

お子さまの首がすわる（生後 4 ヵ月頃）までは、本製品を自動車の座席に取り付けた際に、お子さまの体勢が水平（頭と足が水平）に近くなる方に調節してご使用ください。
※必ずしも水平になるものではありません。

トドラーモード　9kg~18kg まで
目安年齢：1 歳頃～ 4 歳頃

前向き取り付け

使用可能なリクライニングの段階
1 2
3 4
赤色の▲：1~4 のいずれか

ジュニアモード　15kg~36kg まで
目安年齢：3 歳頃～ 12 歳頃

前向き取り付け

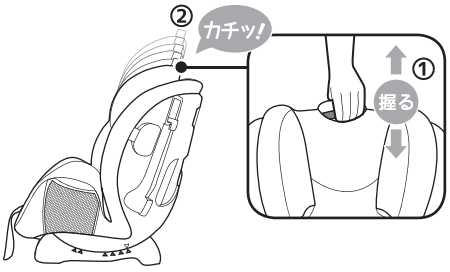
使用可能なリクライニングの段階
1 2
3 4
赤色の▲：1~4 のいずれか

20170217 everystage rev 20.indd　24　　2017/02/17　14:44:25

ヘッドレスト･肩ベルトの高さ調節

本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。
お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01 ①ヘッドレストアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。②適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすとカチッと音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは 10 段階で調節できます。



肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さは、アジャストボタン、アジャストベルトを使用して調節します。お子さまを正しく固定するため、お子さまの乗せ降ろしを容易にするため、肩ベルトは左右を同じ長さにして、常に適切に調節してください。

ポイント！

ソフトパッドの着脱時や、お手入れのために部品を取り外す際には肩ベルトをゆるめると操作しやすくなりますが、受けバックルや差込タングが人や物にぶつかったり、自動車のドアに挟みこまれたりしやすくなりますのでご注意ください。

⚠危険

肩ベルトは適切な長さで調節すること

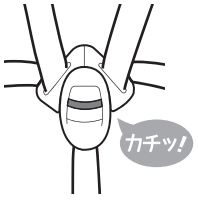
実際にお子さまを乗せ、本製品を使用する場合には、肩ベルトは本書の指示に従い適切な強さで締めつけるようにしてください。ゆるすぎたり、締めつけすぎると、本製品が安全に機能せず、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

肩ベルトは左右が同じ長さになるように調節してください。

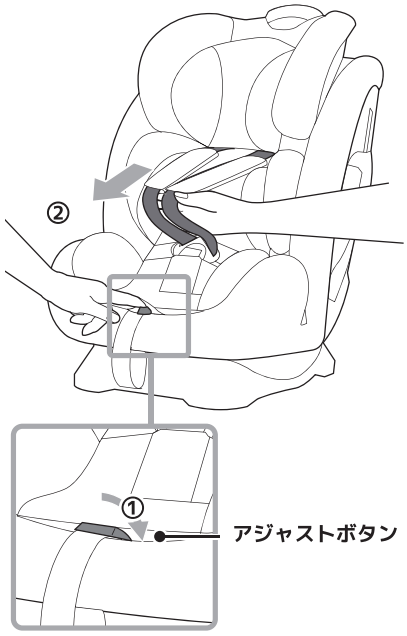
肩ベルトのゆるめかた

01 あらかじめバックルを留めます。



20170217 everystage rev 20.indd 25 2017/02/17 14:44:26

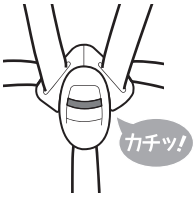
02 片手で左右の肩ベルトを束ねて持ち、アジャストベルトの取り出し口の中にある①アジャストボタンを押しながら、②肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが引き出されます。



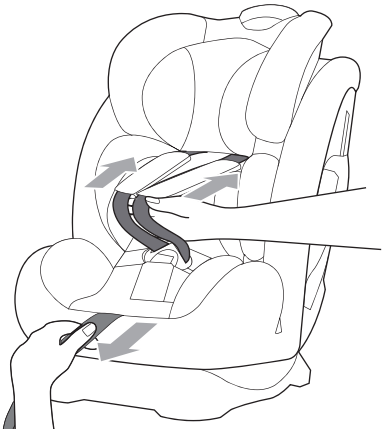
※実際には外側からは見えません

肩ベルトの締めつけかた

01 あらかじめバックルを留めます。



02 ①左右の肩ベルトに片手を添えて、②アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締めつけられます。



⚠注意

片手を添えて、ゆっくりと締めつけること

勢いよく締めつけると、お子さまが必要以上に圧迫されるおそれがあります。

大人の片手の掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締めつけてください。

ポイント！

お子さまを実際に乗せる場合、肩ベルトをゆるめて⇒お子さまを乗せ⇒バックルを留めてから⇒締めつける、操作を行います。

20170217 everystage rev 20.indd 26 2017/02/17 14:44:26

サイドインパクトシールドの使いかた

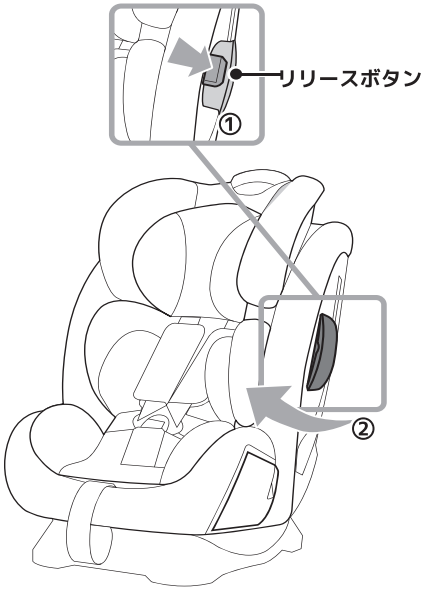
本製品では、側面方向からの衝撃を和らげるため、サイドインパクトシールドが搭載されています。本製品使用中は、サイドインパクトシールドをお使いください。

ポイント！

サイドインパクトシールドは、本製品の左右にそれぞれ付いています。自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開いて使用してください。ドアと反対側の座席のサイドインパクトシールドは、格納しておきます。

01 本製品を取り付ける座席のドア側のサイドインパクトシールドを、カチッと音がするまで開きます。

02 サイドインパクトシールドを閉じる（格納）には、①リリースボタンを押しながら、②サイドインパクトシールドを閉じます。



20170217 everystage rev 20.indd 27 2017/02/17 14:44:27

ベビーモードでの使いかた

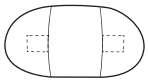
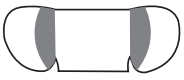
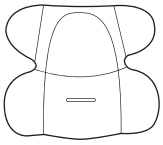
ベビーモード

体重 18kg までのお子さまは、ベビーモードでご使用ください。
お子さまの体重が 9kg 以上になり、姿勢が窮屈になった場合は、前向きで取り付け（トドラーモード）て使用してください。トドラーモードでは、ソフトパッドは取り外して使用してください。
ベビーモードは、体重 18kg まで使用できますが、目安として 1 歳半頃までの使用に適しています。

使用できる期間 お子さまの体重	取り付けの向き	リクライニング	ソフトパッドの使用
ベビーモード **2.5kg~18kg まで** 目安年齢：新生児～ 4 歳頃	 後ろ向き取り付け	5 6 青色の▲ 5 /6 のいずれか お子さまの首がすわる（生後 4 ヵ月頃）までは、本製品を自動車の座席に取り付けた際に、お子さまの体勢が水平（頭と足が水平）に近くなる方に調節してご使用ください。 ※必ずしも水平になるものではありません。	生後 6 ヵ月までは 使用すること ●生後 6 ヵ月頃まではすべてのソフトパッドを使用すること。 ●それ以降は、お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。

ソフトパッドの使用

生後 6 ヵ月までのお子さまは、ソフトパッドを取り付けて使用します。
ソフトパッドは、以下の 3 つのパーツで構成されています。お子さまの成長に合わせて調節してください。

ソフトパッド	
	**ヘッドサポート** お子さまが成長し、窮屈になったら取り外して使用することができます。
	**ショルダーサポート** お子さまが成長し、窮屈になったら取り外して使用することができます。
	**ボディサポート** 生後 6 ヵ月まで使用してください。 それ以降は、お子さまが成長し、窮屈になったら取り外して使用することができます。

ポイント！

ご購入時には、ソフトパッドはすべて取り付けられています。

⚠警告

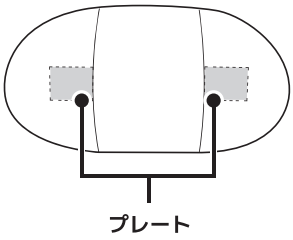
ソフトパッドを正しく使うこと

お子さまを正しく固定するため、ソフトパッドは使用期間を守り、正しく使用してください。
お子さまが成長し、極端に窮屈にならない限り、生後 6 ヵ月までは、すべてのソフトパッドを取り付けて使用してください。

ソフトパッドの取り付け・取り外し

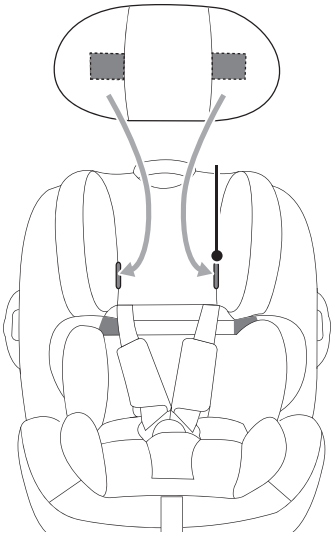
▶ヘッドサポート

01 ヘッドサポートには、表裏があります。ヘッドレストに取り付けるためのプレートが付いている側が裏側です。下図を参照してください。



20170217 everystage rev 20.indd 28 2017/02/17 14:44:27

02 ヘッドレスト左右の取り付け穴（切れ込み）に、プレートを差し入れて、ヘッドサポートを取り付けます。

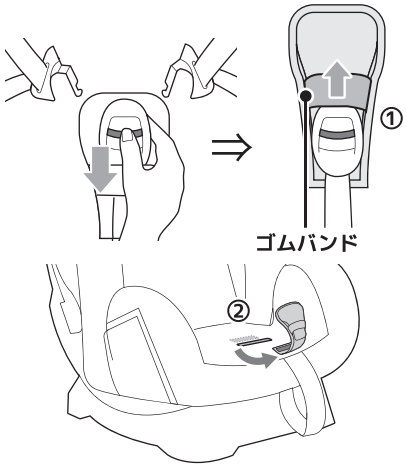


ポイント！

取り外した場合、ヘッドサポートは、無くさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

▶ボディサポート

01 取り外すには、バックルを外し、①受けバックルから股ベルトパッドのゴムバンドを抜き、②シートの股ベルト取り出し穴に留めてある面ファスナーを外して、取り外します。

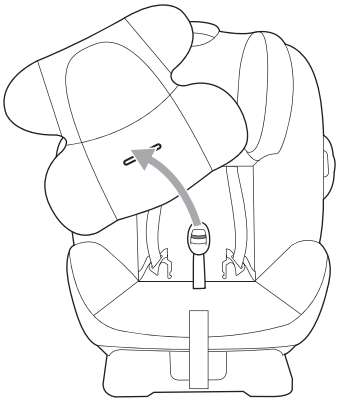


⚠注意

股ベルトパッドを元に戻すこと

股ベルトパッドは、ボディサポートを取り外した後で、必ず取り付けなおしてください。

02 肩ベルト、腰ベルトが引っかからないように注意しながら、股ベルトから抜き取り、取り外します。



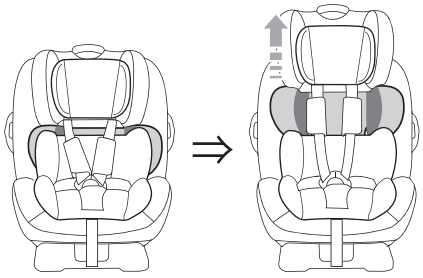
03 股ベルトパッドを、股ベルトに取り付けます。

04 取り付けは、逆の手順で行います。
この場合も、股ベルトパッドの取り付けを忘れないよう注意してください。

20170217 everystage rev 20.indd 29 2017/02/17 14:44:27

▶ショルダーサポート

ショルダーサポートは、ベビーモードではボディサポートの下側に重ねて使用します。
お子さまが成長し、ヘッドレスト、肩ベルトの位置を高くした場合には、ヘッドサポートとボディサポートの中間の位置で使用します。

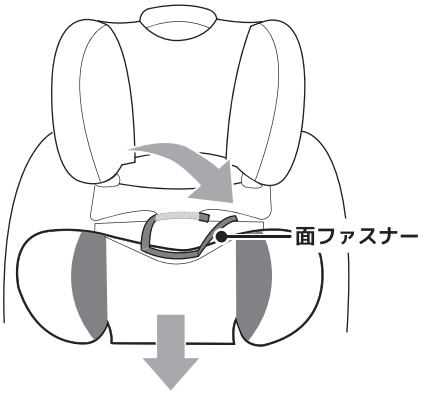


⚠注意

ショルダーサポートはボディサポートの下にしておくこと

ヘッドレストの高さを調節し、高さを上げたヘッドレストを下げると、ショルダーサポートがボディサポートの上に重なる、または、ショルダーサポートがボディサポートを圧迫する場合があります。
この場合、ショルダーサポートがボディサポートの下になるように重ね直してください。

01 取り外すには、ヘッドレストに取り付けらているショルダーサポート上部の取り付け用ベルトの面ファスナーを外して、取り外します。



02 取り付けは、逆の手順で行ってください。
ショルダーサポートの取り付け用ベルトをねじらないように注意してください。

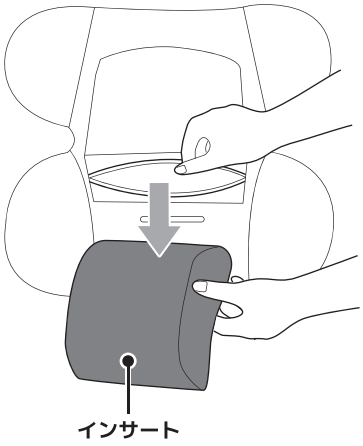
☞ポイント！

お子さまが成長し、肩が窮屈になったらショルダーサポートを取り外して使用してください。

ボディサポートの調節

ベビーモードの場合、ボディサポートは生後６ヵ月までは使用してください。
お子さまの成長により、姿勢が窮屈になった場合、インサートを取り外して使用することができます。

01 ボディサポート背面のインサート取り出し口から、インサートを取り出します。

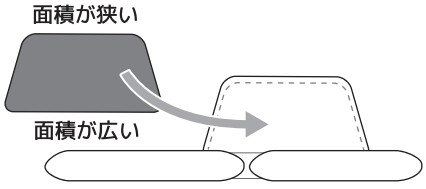


⚠注意

インサートは、慎重に取り出すこと

インサートはきつめに入っています。無理に引き出そうとすると、ソフトパッドが破れたり、ほつれたりするおそれがあります。

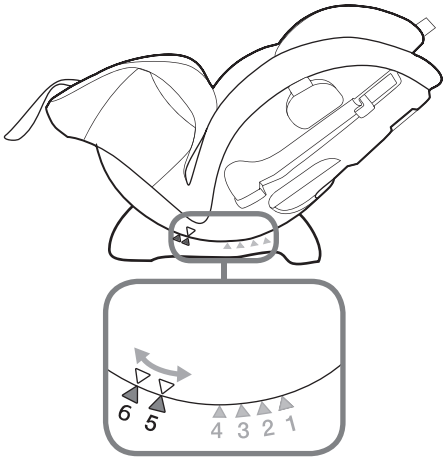
02 インサートを戻す場合は、向きに注意してください。面積の広い側が、ボディサポートの表側（お子さまが乗る側）になります。



20170217 everystage rev 20.indd 30 2017/02/17 14:44:28

リクライニングの調節

01 ベビーモードでは、リクライニングの段階は 5 または 6 のみ使用可能です。（青色の▲）それ以外の段階になっている場合は、5 または 6 に調節してください。



参照：P24
リクライニングの使いかた

⚠危険

リクライニングを正しく調節すること

ベビーモードでは、5 または 6（青色の▲）以外の位置では使用できません。お子さまが無理な姿勢になり窒息したり、事故や急制動の際にお子様に重大な影響がおよぶ危険性があります。

02 本製品を自動車の座席に取り付けた状態で、お子さまの体勢が、より水平に近い状態になる角度で、5 または 6 の段階でリクライニングを調節してください。

肩ベルトの高さ調節

本製品は、ヘッドレストを上下させることにより、肩ベルトの高さも連動して上下します。
片手でお子さまの頭を優しく支え、慎重にヘッドレストの高さを調節してください。

ポイント！

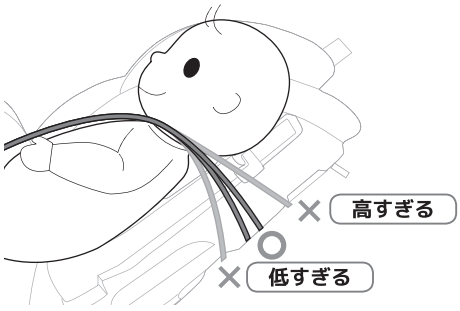
ご購入時、肩ベルトは最も低い高さ（新生児期からの使用に適した高さ）に調節されています。

01 あらかじめバックルを外し、肩ベルトをゆるめておきます。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

02 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。

03 ベビーモードでは、肩ベルトの高さはお子さまの肩の位置より少し下から同じ高さの間で調節してください。



参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

20170217 everystage rev 20.indd 31 2017/02/17 14:44:28

座席への取り付けかた

ベビーモードでは、本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに本製品を取り付けて使用します。

⚠危険

使用可能な範囲を守ること

ベビーモードでは、体重 18kg までのお子さまにご使用いただけますが、目安として 1 歳半頃までのお子さまの使用に適しています。

⚠警告

お子さまを乗せたまま、本製品を取り付けないこと

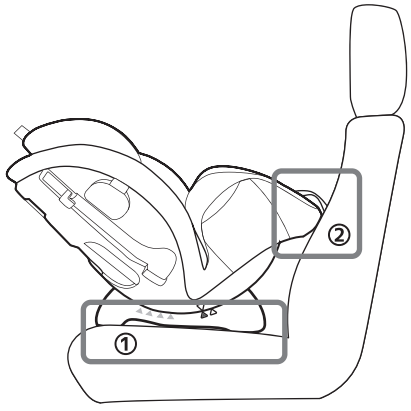
お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ポイント！

あらかじめ、以下の点を確認してください。

- **ソフトパッドの取り付け**
- **リクライニングの角度：5 または 6 の位置（青色の▲）**
- **肩ベルトの高さが適切であること**

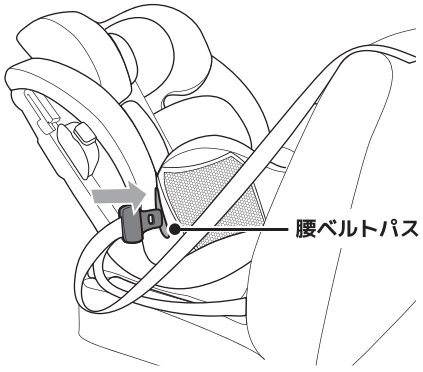
01 本製品を取り付ける座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。
①本製品の底面全体がシート座面に、②前端がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



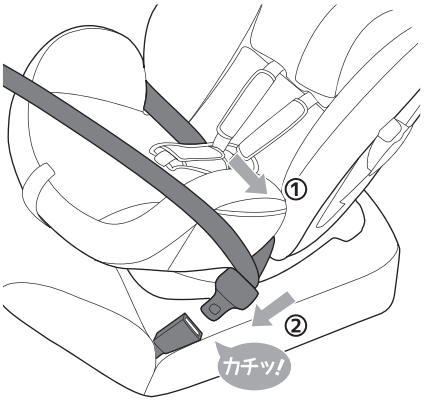
ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の場合の説明です。

02 あらかじめ、ボディサポートを取り外し、バックルを外しておきます。
自動車ベルトタング（自動車シートベルト）を、ねじらないように注意しながら引き出して、腰ベルトパスに差し入れます。



03 自動車腰ベルトを、①反対側の腰ベルトパスに通します。自動車腰ベルトはバックルや乳幼児ベルト、ソフトパッドの下側にきます。自動車シートベルトにねじれがない事を確認して、②自動車ベルトタングを自動車ベルトバックルにカチッっと音がするまでしっかりと差し込んで、留めます。

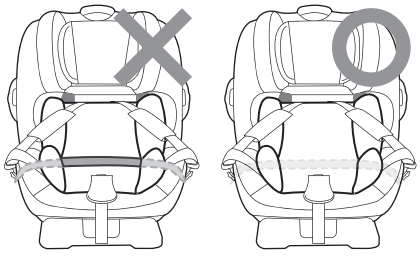


20170217 everystage rev 20.indd 32 2017/02/17 14:44:28

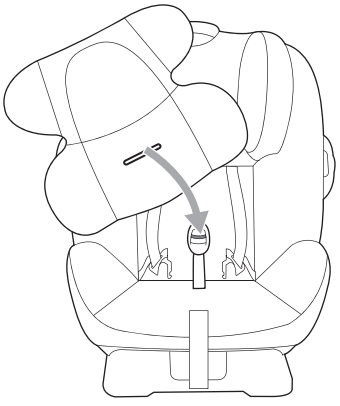
⚠危険

自動車腰ベルトは、ソフトパッド、受けバックル、差込タングの下側を通すこと

自動車腰ベルトが、ソフトパッド、の上を通っていると、本製品が所定の性能を発揮できません。また、受けバックル、差込タングの上を通っている状態で、本製品を座席に取り付けると、受けバックル、差込タングを抜いた際に、取り付けがゆるんでしまいます。

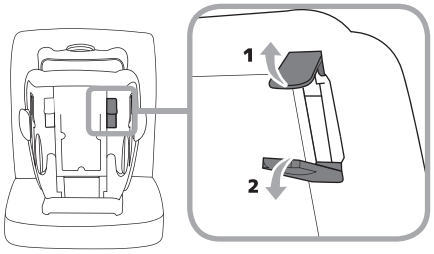


04 ボディサポートを取り付けます。

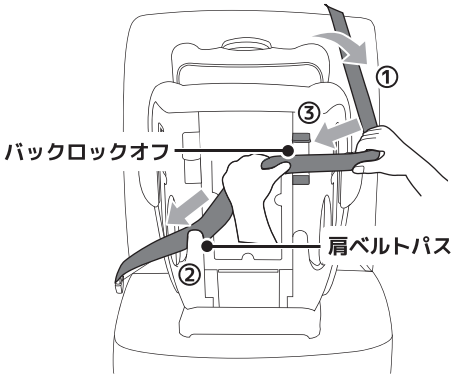


参照：P28
ソフトパッドの取り付け・取り外し

05 自動車のドア側のバックロックオフを開きます。



06 自動車肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、①本製品の背面側に回し、②自動車バックル側の肩ベルトパスと、③バックロックオフを通します。



07 本製品の①座面部分を強く押し付けながら、②自動車肩ベルトを強く引き、本製品を締めつけます。

20170217 everystage rev 20.indd 33 2017/02/17 14:44:29

⚠注意

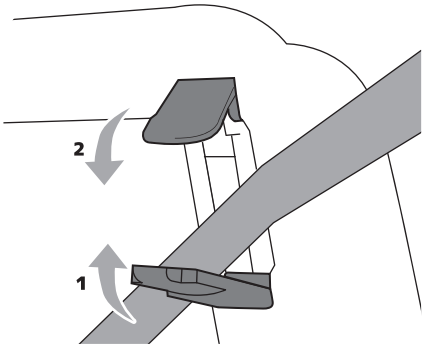
強く押し付ける際に、バックル等でケガをしないように注意すること

バックルではなく、本製品の座面部分を押すようにしてください。

ポイント！

本製品の締めつけが完了する前に、自動車シートベルトの固定機能が働くと、それ以上本製品を強く締めつけることができません。完了する前に、自動車シートベルトの固定機能が働いてしまった場合、固定機能を解除してから、本製品を取り付け直してください。自動車シートベルトの固定機能の解除のしかたは、自動車の取扱説明書を参照してください。

08 自動車シートベルトにねじれがないことを確認して、バックロックオフを閉じます。下、上の順で、しっかりと閉じてください。

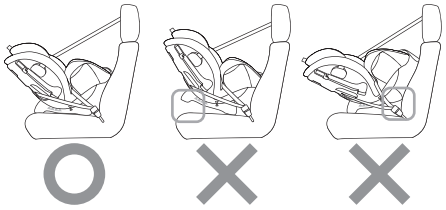


⚠危険

自動車肩ベルトがねじれたり、よれたりしたままでバックロックオフを閉じないこと

本製品が所定の性能を発揮できません。自動車肩ベルトのねじれ、よれがないようにしてください。

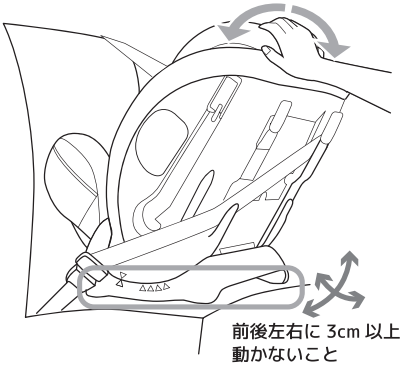
09 本製品の底面と先端が、それぞれ、シート座面とシート背もたれに接しているかどうか、確認してください。本製品が浮いてしまっている場合、自動車シートベルトをゆるめてもう一度取り付け直してください。



ポイント！

自動車ベルトバックルが長すぎたり、自動車ベルトバックルの位置が前方過ぎる座席では、本製品をしっかりと取り付けられません。

10 ヘッドレストを持って、前後左右に軽く動かして、本製品の底面が 3cm 程度以上動かないことを確認します。取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、もう一度 07 ～ 09 の作業を行ってください。

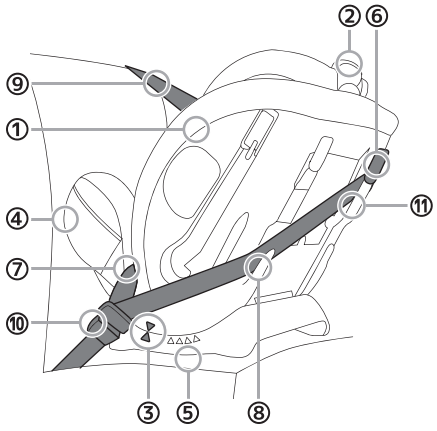


11 サイドインパクトシールドが格納されている場合、自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開きます。

参照：P27
サイドインパクトシールドの使いかた

20170217 everystage rev 20.indd 34 2017/02/17 14:44:29

12 以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



チェックリスト

① 全てのソフトパッドが正しく取り付けられていること
自動車腰ベルトが、ソフトパッドの下側を通っていること

② 肩ベルト（ヘッドレスト）が、正しく調節されていること

③ リクライニングが正しく調節されていること（5 または 6 青色の▲の位置のみで使用可能）

④ 本製品の先端が、座席背もたれと接していること

⑤ 本製品の底面全体が、座席の座面と接していること

⑥ 自動車肩ベルトがバックロックオフを通り、バックロックオフが正しく固定されていること

⑦ 自動車腰ベルトが、本製品左右の腰ベルトパスを通っていること

⑧ 自動車肩ベルトが、本製品の肩ベルトパスを通っていること

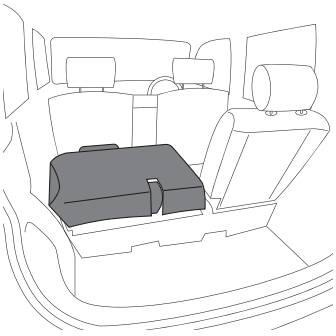
⑨ 自動車シートベルトにねじれがないこと

⑩ 自動車バックルがしっかりと正しく留められていること

⑪ 自動車のドア側のサイドインパクトシールドが開かれていること

⚠危険

可倒式の座席の背もたれは確実に固定すること
シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



⚠警告

自動車の座席のリクライニングを操作時には、本製品の取り付け状態を必ず確認すること
本製品の取り付けがゆるむおそれがあります。本製品を取り付けた後で、座席のリクライニングを操作した場合は、必ず、本製品の取り付け状態を確認し、取り付けがゆるんでいた場合には、取付直ししてください。

自動車の座席を後ろにスライドさせないこと
車種によっては、座席を前後にスライドさせることができる場合があります。本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、座席を後ろ方向にスライドさせないでください。

13 取り外しは、逆の手順で行ってください。

20170217 everystage rev 20.indd 35 2017/02/17 14:44:30

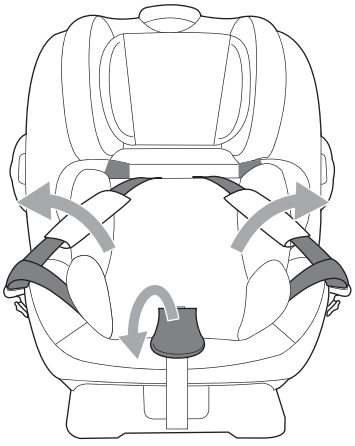
お子さまの座らせかた

ヘッドレスト、肩ベルトの調節をする前に、リクライニングを調節して、お子さまを正しい姿勢で座らせてください。

01 あらかじめバックルを外し、肩ベルトを十分にゆるめておきます。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

02 お子さまがバックル、乳幼児ベルトの上に座らないよう、差込タング、受けバックルをそれぞれ外側に出しておきます。



⚠注意

受けバックル、差込タング、その他のものの上にお子さまが座らないようにすること

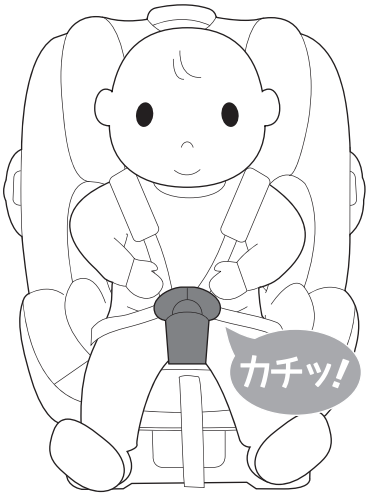
ケガ、故障、破損のおそれがあります。受けバックル、差込タングの上にお子さまを座らせないように注意してください。また、お子さまが座る前には、ソフトパッドの下側も含め、必ず、本製品の上におもちゃなどの異物が乗っていないことを確認してください。

ポイント！

受けバックルに異物が入らないよう、お子さまを乗せていない場合でも、バックルは留めておくようにしてください。

03 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。

04 両足を股ベルトの間に入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。



ポイント！

乳幼児ベルトがきつい場合は、無理にバックルを留めず肩ベルトをゆるめてください。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

⚠危険

バックルに異常がある場合は使用しないこと

カチッと音がしない、など、バックルに異常が認められる場合は、本製品を使用しないでください。

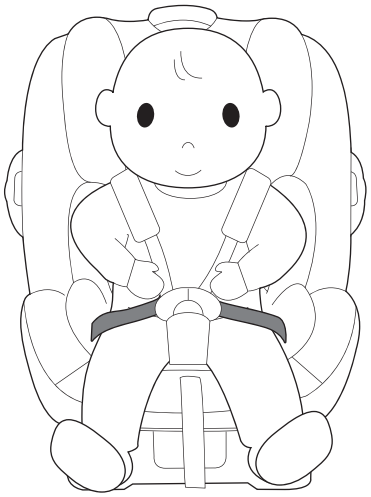
⚠警告

乳幼児ベルトをねじらないこと

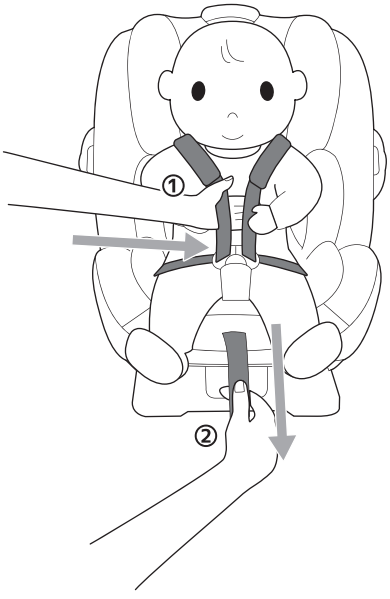
バックルを留める前に、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認してください。乳幼児ベルトにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

20170217 everystage rev 20.indd 36 2017/02/17 14:44:30

05 腰ベルトがお子さまの骨盤の上に乗るようにしてください。



06 ①肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、乳幼児ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



⚠危険

アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引かないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

07 最後に、もう一度、バックルが正しく留っているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないかを確認してください。

お子さまの降ろしかた

01 バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、乗せ降ろしは大人のかたが行うようにしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 37 2017/02/17 14:44:30

ポイント！

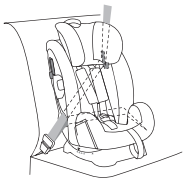
お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルトの高さが適切かどうか、確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 38 2017/02/17 14:44:30

トドラーモードでの使いかた

トドラーモード

お子さまの体重が 9kg 以上になり、姿勢が窮屈になった場合は、前向きで取り付け（トドラーモード）て使用します。トドラーモードは、体重 18kg まで使用可能です。

使用できる期間 お子さまの体重	取り付けの向き	リクライニング	ソフトパッドの使用
トドラーモード **9kg~18kg まで** 目安年齢：1 歳頃～ 4 歳頃	 前向き取り付け	 赤色の▲ 1~4 のいずれか	使用不可

⚠危険

使用可能な範囲を守ること

トドラーモード（前向き取り付け）では、体重 9kg から 18kg までのお子さまがご使用いただけます。目安の年齢の範囲内でも、体重 9kg 未満の場合は、後ろ向き取り付けで使用し、体重 18kg を超えた場合は、ジュニアモードで使用してください。

ソフトパッドの取り外し

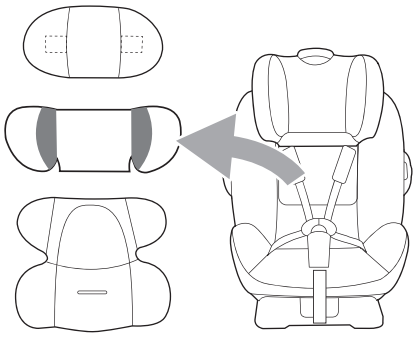
トドラーモードの場合、ソフトパッドをすべて取り外して使用します。

⚠注意

ソフトパッドはお子さまの手の届かないところで保管すること

取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かないところで保管してください。

01 P28 の「ソフトパッドの取り付け・取り外し」を参照して、すべてのソフトパッド（ヘッドサポート、ボディサポート、ショルダーサポート）を取り外してください。

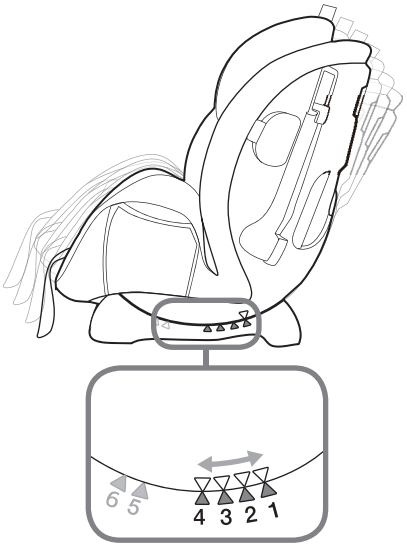


参照：P28
ソフトパッドの取り付け・取り外し

20170217 everystage rev 20.indd 39 2017/02/17 14:44:30

リクライニングの調節

01 トドラーモードでは、リクライニングポジションは 5 6 以外すべて使用可能です。
赤色の▲（1 ～ 4）のいずれかに調節してください。



参照：P24
リクライニングの使いかた

02 1 ～ 4（赤色の▲）いずれかの段階に調節してご使用ください。

⚠警告

リクライニングの調節時には、取り付け状態を確認すること

本製品を座席に取り付けた後からでもリクライニングの調節は可能ですが、リクライニングの調節時に、取り付けがゆるむことがありますので、リクライニング調節後は、本製品の取り付けがゆるんでいないかを確認してください。

肩ベルトの高さ調節

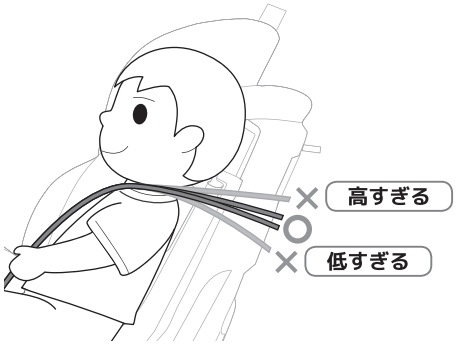
トドラーモード（前向き取り付け時）では、ベビーモード（後ろ向き取り付け時）と、適切な高ベルトの高さが異なります。

01 あらかじめバックルを外し、肩ベルトをゆるめておきます。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

02 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。

03 トドラーモードでは、肩ベルトの高さはお子さまの肩の位置より少し上から同じ高さの間で調節してください。



参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

20170217 everystage rev 20.indd 40 2017/02/17 14:44:31

座席への取り付けかた

トドラーモードでは、本製品を自動車の進行方向に対して前向きに本製品を取り付けて使用します。

⚠危険

使用可能な範囲を守ること

トドラーモードでは、体重 9kg から 18kg までのお子さまにご使用いただけます。体重 9kg までは、必ず、ベビーモード（後ろ向き取り付け）で使用してください。

⚠警告

お子さまを乗せたまま、本製品を取り付けないこと

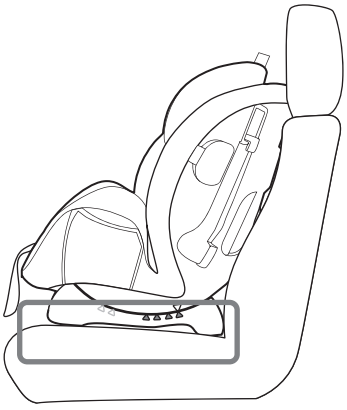
お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ポイント！

あらかじめ、以下の点を確認してください。

- ソフトパッドの取り外し
- リクライニングの角度：1,2,3,4 のいずれか（赤色の▲）
- 肩ベルトの高さが適切であること

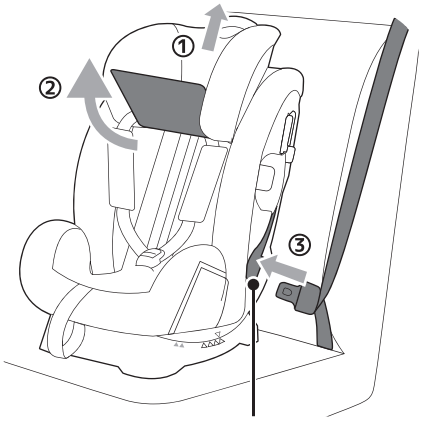
01 本製品を取り付ける座席に、本製品を前向きにして置きます。
本製品の底面（ベースの底面）全体がシート座面に、後部がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の場合の説明です。

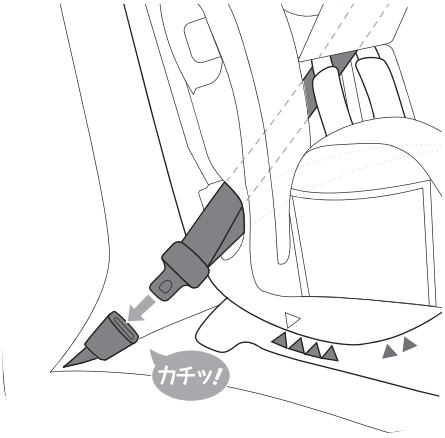
02 ①ヘッドレストを最も上まで上げ、②ヘッドレスト下部をめくり上げておきます。③自動車ベルトタング（自動車シートベルト）を、ねじらないように注意しながら引き出して、バックベルトパスに差し入れます。



バックベルトパス

20170217 everystage rev 20.indd 41 2017/02/17 14:44:31

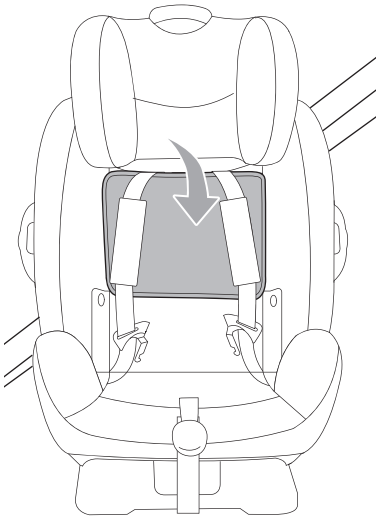
03 そのまま、反対側のバックベルトパスまで自動車ベルトタングを通します。肩ベルトの下側を通してください。
自動車シートベルトにねじれがない事を確認して、自動車ベルトタングを自動車ベルトバックルにカチッっと音がするまでしっかりと差し込んで、留めます。



ポイント！

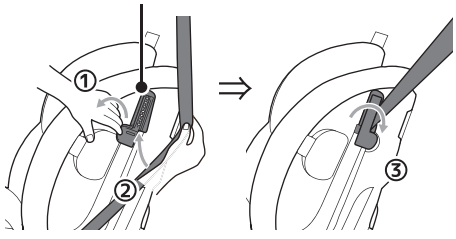
自動車シートベルトが、肩ベルトの上や、ヘッドレスト下部のカバーの上を通らないようにしてください。

04 ヘッドレストの下部を下ろします。肩ベルトは表側に出してください。
ヘッドレストは、お子さまの体格に応じて適切な高さに調節してください。



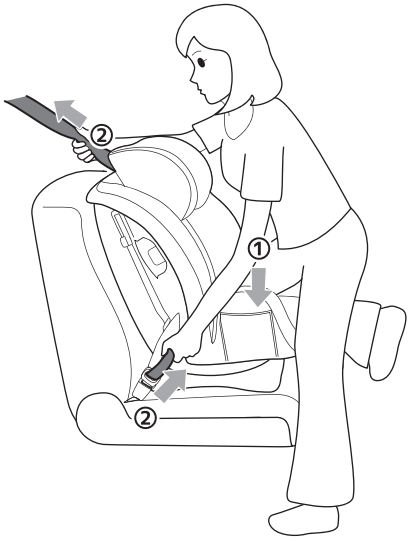
05 自動車のドア側（自動車肩ベルトの取り出し口側）の①サイドロックオフを開き、自動車肩ベルトにねじれや、よれがでないよう注意しながら、②自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れたら、③サイドロックオフを開いている手を放し、サイドロックオフを閉じ、サイドロックオフが自動車肩ベルトをかみ込むようにします。

サイドロックオフ

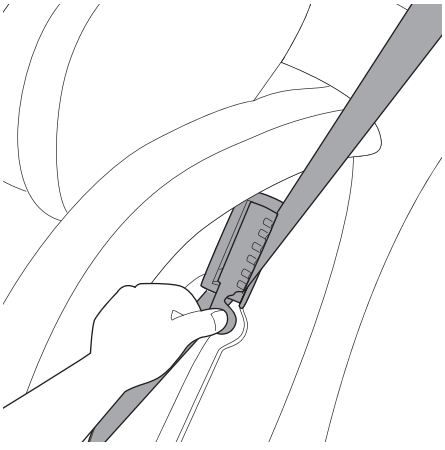


20170217 everystage rev 20.indd 42 2017/02/17 14:44:31

06 本製品の座面部分に膝を乗せるなどして、①本製品に体重を掛けながら、②自動車肩ベルトを左右の手で強く、きつく締めあげてください。



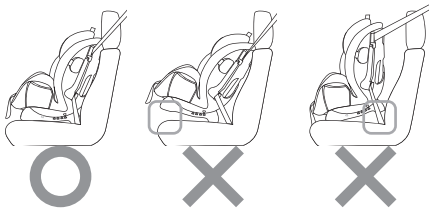
07 今一度、サイドロックオフが確実に閉じられていることを確認します。



ポイント！

本製品の締めつけが完了する前に、自動車シートベルトの固定機能が働くと、それ以上本製品を強く締めつけることができません。完了する前に、自動車シートベルトの固定機能が働いてしまった場合、固定機能を解除してから、本製品を取り付け直してください。自動車シートベルトの固定機能の解除のしかたは、自動車の取扱説明書を参照してください。

08 本製品の底面（ベースの底面）全体がシート座面に、後部がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。本製品が浮いてしまっている場合、自動車シートベルトをゆるめてもう一度取り付け直してください。



ポイント！

自動車ベルトバックルが長すぎたり、自動車ベルトバックルの位置が前方過ぎる座席では、本製品をしっかりと取り付けられません。

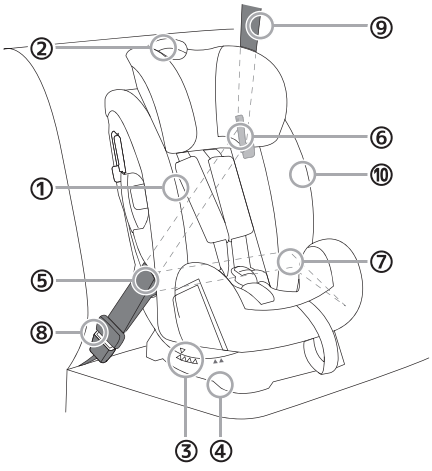
20170217 everystage rev 20.indd 43 2017/02/17 14:44:32

09 ヘッドレストを持って、前後左右に軽く動かして、本製品の底面が 3cm 程度以上動かないことを確認します。取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、もう一度 05 ～ 08 の作業を行ってください。

10 サイドインパクトシールドが格納されている場合、自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開きます。

参照：P27
サイドインパクトシールドの使いかた

11 以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



チェックリスト

① ソフトパッドが 3 つとも取り外されていること

② 肩ベルト（ヘッドレスト）が、正しく調節されていること

③ リクライニングが正しく調節されていること（1~4：赤色の▲で使用可能 /5/6：青色の▲は使用不可）

④ 本製品の底面全体が、座席の座面と接しており、底面の後部が背もたれと接していること

⑤ 自動車肩ベルトと自動車腰ベルトが自動車ベルトバックル側のバックベルトパスを通っていること

⑥ 自動車肩ベルトが自動車のドア側のサイドロックオフを通り、サイドロックオフが閉じられていること

⑦ 自動車腰ベルトが、自動車のドア側のバックベルトパスを通っていること

⑧ 自動車バックルがしっかりと正しく留められていること

⑨ 自動車シートベルトにねじれがないこと

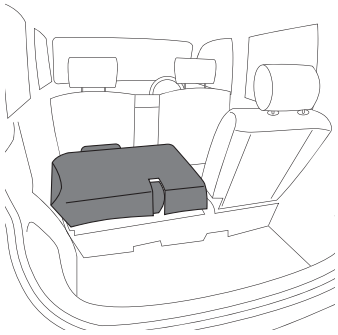
⑩ 自動車のドア側のサイドインパクトシールドが開かれていること

20170217 everystage rev 20.indd 44 2017/02/17 14:44:32

⚠危険

可倒式の座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



⚠警告

自動車の座席のリクライニングを操作時には、本製品の取り付け状態を必ず確認すること

本製品の取り付けがゆるむおそれがあります。本製品を取り付けた後で、座席のリクライニングを操作した場合は、必ず、本製品の取り付け状態を確認し、取り付けがゆるんでいた場合には、取付直ししてください。

自動車の座席を後ろにスライドさせないこと

車種によっては、座席を前後にスライドさせることができる場合があります。本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、座席を後ろ方向にスライドさせないでください。

12 取り外しは、逆の手順で行ってください。

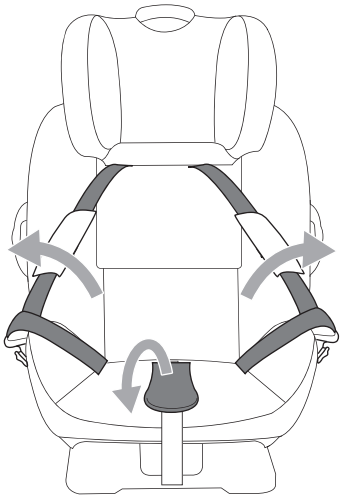
お子さまの座らせかた

ヘッドレスト、肩ベルトの調節をする前に、リクライニングを調節して、お子さまを正しい姿勢で座らせてください。

01 あらかじめバックルを外し、肩ベルトを十分にゆるめておきます。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

02 お子さまがバックル、乳幼児ベルトの上に座らないよう、差込タング、受けバックルをそれぞれ外側に出しておきます。



⚠注意

受けバックル、差込タング、その他のものの上にお子さまが座らないようにすること

ケガ、故障、破損のおそれがあります。受けバックル、差込タングの上にお子さまを座らせないように注意してください。また、お子さまが座る前には、必ず、本製品の上におもちゃなどの異物が乗っていないことを確認してください。

20170217 everystage rev 20.indd 45 2017/02/17 14:44:32

03 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。

04 両足を股ベルトの間に入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。

ポイント！

乳幼児ベルトがきつい場合は、無理にバックルを留めず肩ベルトをゆるめてください。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

⚠危険

バックルに異常がある場合は使用しないこと

カチッと音がしない、など、バックルに異常が認められる場合は、本製品を使用しないでください。

⚠警告

乳幼児ベルトをねじらないこと

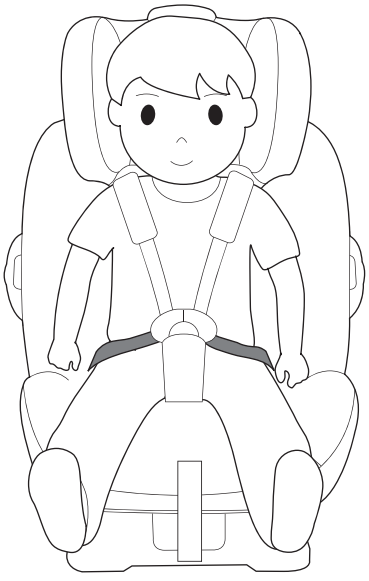
バックルを留める前に、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認してください。乳幼児ベルトにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

お子さまがバックルに手を触れないよう言い聞かせること

お子さまが成長し、様々なことに興味を持つようになると、バックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

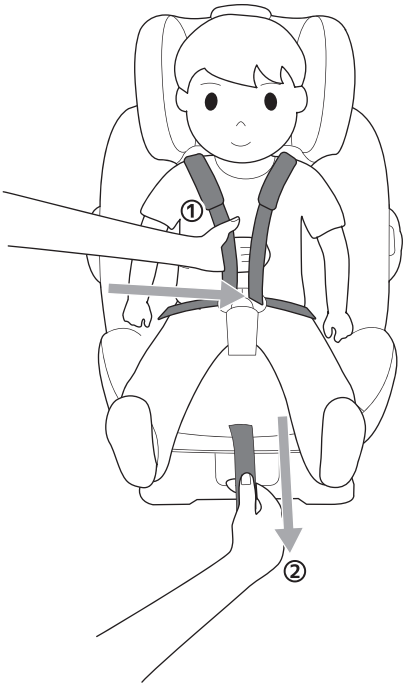
常日頃から、バックルには手を触れないよう、言い聞かせるようにして、本製品の使用中は、適宜、安全の確認をするようにしてください。

05 腰ベルトがお子さまの骨盤の上に乗るようにしてください。



20170217 everystage rev 20.indd 46 2017/02/17 14:44:32

06 ①肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



⚠危険

アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャストベルトを、勢いよく引かないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

07 最後に、もう一度、バックルが正しく留っているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないかを確認してください。

お子さまの降ろしかた

01 バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の方が常に手を添えて乗り降りさせるようにしてください。

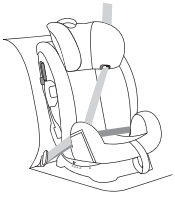
お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルトの高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 47 2017/02/17 14:44:32

ジュニアモードでの使いかた

ジュニアモード

お子さまの体重が 15kg 以上になり、身長が伸び、肩ベルトの高さの調節が困難になり始めたら、ジュニアモードで使用します。お子さまの体重が 18kg までの間は、トドラーモードでも使用することができます。
ジュニアモードでは、本製品の乳幼児ベルトを使用せず、自動車のシートベルトを使用します。

使用できる期間 お子さまの体重	取り付けの向き	リクライニング	ソフトパッドの使用
ジュニアモード **15kg~36kg まで** 目安年齢：3 歳頃～ 12 歳頃	 前向き取り付け	1 2 3 4 赤色の▲ 1~4 のいずれか	使用不可

⚠危険

使用可能な範囲を守ること
ジュニアモードでは、体重 15kg から 36kg までのお子さまがご使用いただけます。目安の年齢の範囲内でも、体重 15kg 未満の場合は、ジュニアモードでは使用しないでください。

ソフトパッドの取り外し

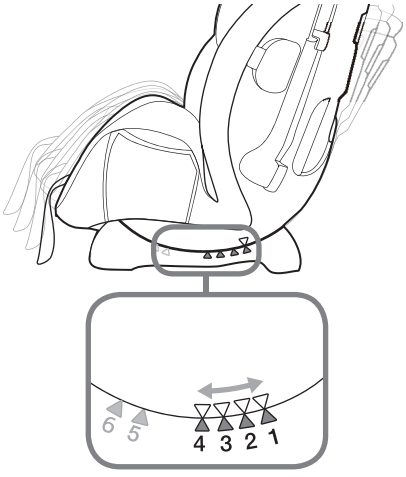
ジュニアモードでは、ソフトパッドは使用できません。すべてのソフトパッドを取り外してください。

⚠注意

ソフトパッドはお子さまの手の届かないところで保管すること
取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かないところで保管してください。

リクライニングの調節

01 ジュニアモードでは、リクライニングポジションは 5 6 以外すべて使用可能です。
赤色の▲（1 ～ 4）のいずれかに調節してください。



20170217 everystage rev 20.indd 48 2017/02/17 14:44:33

乳幼児ベルトの格納

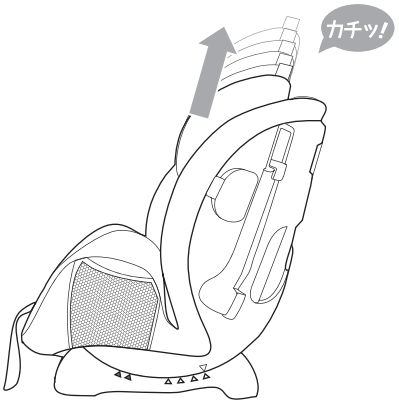
ジュニアモードでは、乳幼児ベルトを使用しません。乳幼児ベルトを、本体内に格納します。

⚠注意

乳幼児ベルトを本体に格納せずにジュニアモードで使用しないこと

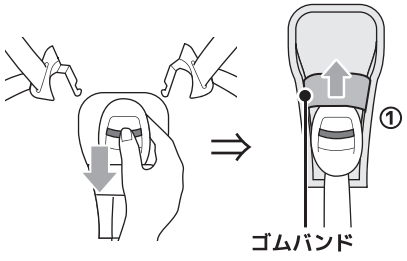
お子さまがバックルの上に座るなどして、ケガをしたり、バックルが破損するおそれがあります。

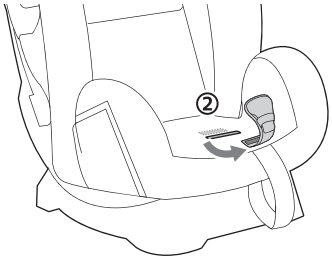
01 ヘッドレストを最も高い位置に調節します。ヘッドレストが低い位置にあると、以降の作業ができません。



参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

01 股ベルトパッドは、ジュニアモードでも使用します。股ベルト（受けバックル）を本体に格納後、シートに取り付けなおします。
バックルを外し、①受けバックルから股ベルトパッドのゴムバンドを抜き、②シートの股ベルト取り出し穴に留めてある面ファスナーを外して、取り外します。



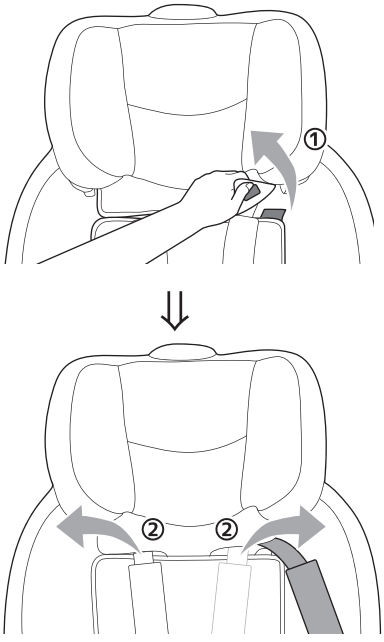


⚠注意

ジュニアモードでも股ベルトパッドは使用します。

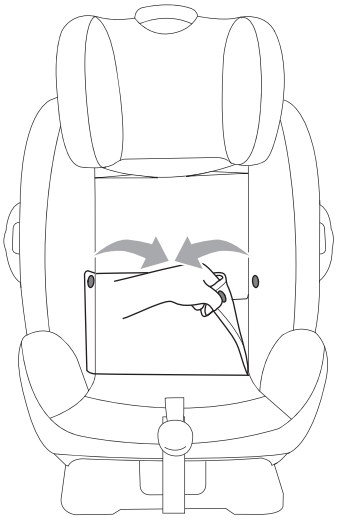
股ベルト（受けバックル）を本体に格納後、取り付け直します。

02 ①肩ベルトを留めているヘッドレスト下部の左右の面ファスナーを外し、②左右の肩ベルトを、それぞれ外側にずらして面ファスナーの間から抜きます。

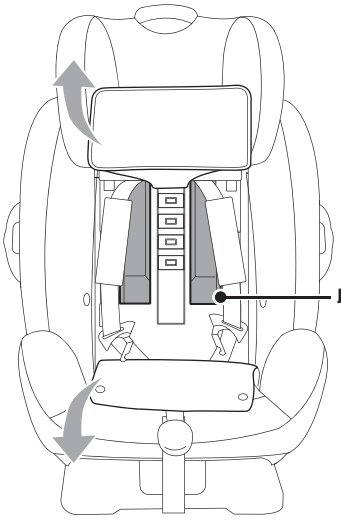


20170217 everystage rev 20.indd 49 2017/02/17 14:44:33

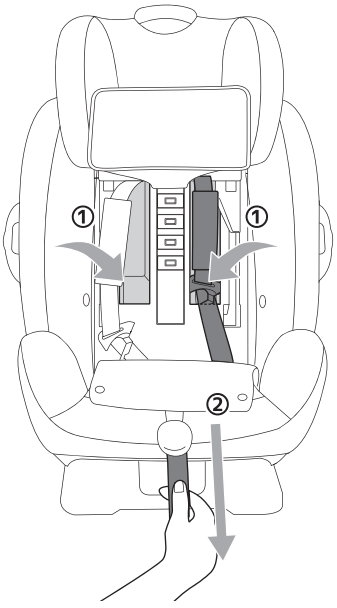
03 本製品の背もたれの部分にある左右 2 ヵ所のホックを外します。



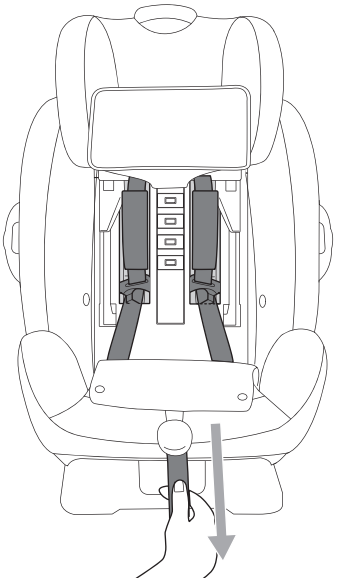
04 ヘッドレストの下部を上方向に、ホックボタンを外した背もたれ部分を下方向に、それぞれめくると、肩ベルト、差込タングの収納スペースが現われます。



05 左右の肩ベルトと差込タングを、①左右それぞれの収納スペースに入れます。②アジャストベルトで肩ベルトを短くしながら、収納してください。



06 肩ベルトにたるみがある場合は、軽くアジャストベルトを引いて、たるみを無くしておいてください。



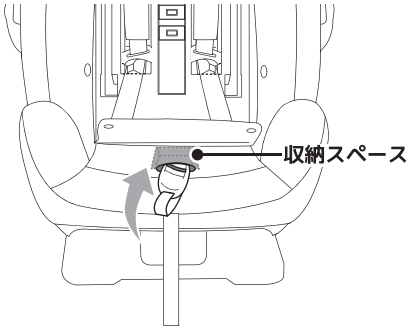
20170217 everystage rev 20.indd 50 2017/02/17 14:44:34

ポイント！

肩ベルトを締めつけすぎると、収納スペースに入りにくくなります。締めつけすぎた場合は、肩ベルトをゆるめてください。

参照：P25
肩ベルトの長さ調節

07 受けバックル（股ベルト）を、本製品の座面の股ベルトの取り出し口に押し込み、座面にある受けバックルの収納スペースに収納します。お子さまが座る際に邪魔にならないよう、収納スペース内に収めるようにしてください。

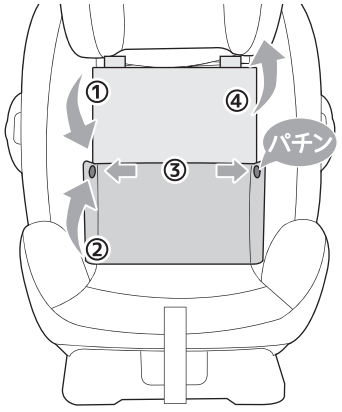


⚠注意

受けバックル（股ベルト）を取り出す際に、ケガをしないように注意すること

収納した受けバックルを取り出すには、股ベルトの取り出し穴に指を差し入れて、取り出してください。取り出し口は狭くなっていますので、ケガをしないよう、慎重に取り出してください。

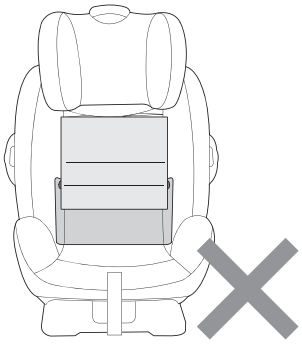
08 ①ヘッドレストの下部、②背もたれ部分の順でたたみ、③背もたれ部分の左右のホックボタンを留め、④ 02 で外した面ファスナーを留めます。



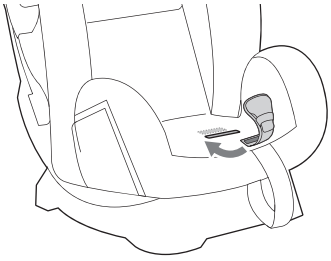
⚠注意

たたむ順番にご注意ください

ヘッドレストの下部⇒背もたれ部分の順でたたみます。逆にしないでください。



09 股ベルトパッド下端の面ファスナーを、股ベルトの通し穴の内側の面ファスナーに留めます。

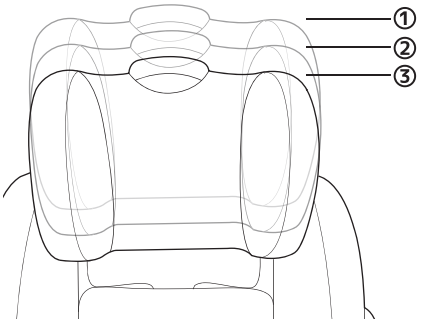


20170217 everystage rev 20.indd 51 2017/02/17 14:44:34

ヘッドレストの高さ調節

ジュニアモードでは、ヘッドレストは上から 3 段階のみ使用可能です。
お子さまの身長に合わせて、調節してください。

参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



⚠注意

無理にヘッドレストを下げようとしないこと
ジュニアモードでは、上から 3 段階のみ使用可能です。それ以上ヘッドレストを下げようとすると、破損するおそれがあります。

自動車の座席への設置

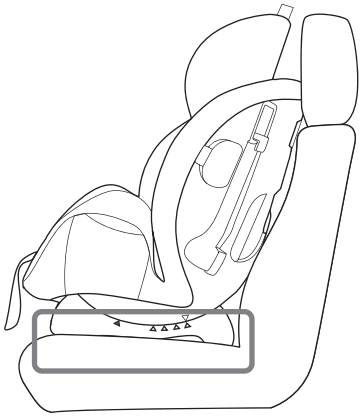
ジュニアモードでは、本製品を自動車シートベルトで固定しません。本製品を座席に設置し、お子さまは、自動車シートベルトを着用します。

⚠危険

必ず、自動車シートベルトを着用すること
本製品を自動車の座席に設置し、必ず、本製品の所定の場所に自動車シートベルトを通して、着用してください。

3 点式シートベルト以外は使用しないこと
ジュニアモードでも、3 点式シートベルトを使用すること。2 点式、5 点式などの他の方式のシートベルトは絶対に使用しないでください。

01 本製品を設置する座席に、本製品を前向きにして置きます。
本製品の底面（ベースの底面）全体がシート座面に、後部がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



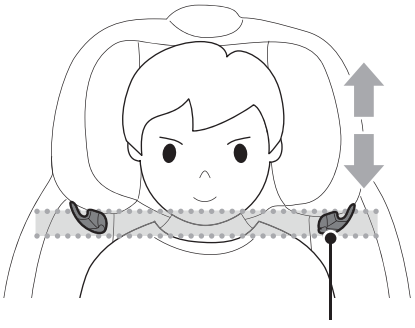
20170217 everystage rev 20.indd 52 2017/02/17 14:44:34

お子さまの座らせかた

01 本製品に深く座るように、背筋を伸ばして、楽な姿勢で本製品の中央に座らせます。
股ベルトパッドが前側に出るようにしてください。

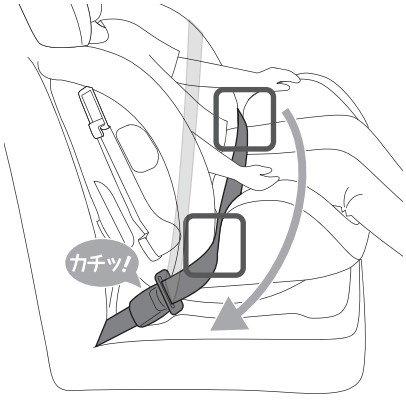
02 本製品では、ヘッドレストの肩ベルトガイドに自動車肩ベルトを通しますので、肩ベルトガイド（ヘッドレスト）の高さを調節します。

03 ジュニアモードでは、肩ベルトガイドの高さをお子さまの肩の位置と同じ高さから少し上の間で調節してください。

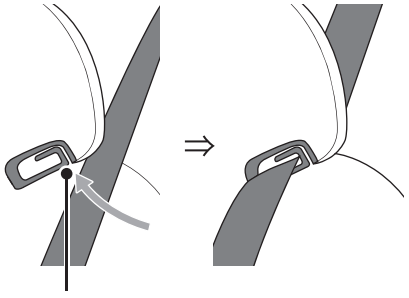


参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

04 自動車腰ベルトを、左右の腰ベルトパスに通し、通常の自動車シートベルトの使用方法同様に自動車バックルを留めます。自動車シートベルトをねじらないよう注意して、自動車バックルをしっかりと留めてください。



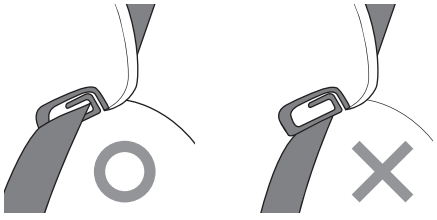
05 自動車肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。
肩ベルトガイドの切り口に自動車肩ベルトを差し入れて通してください。
自動車肩ベルトをねじらないようにしてください。



⚠警告

肩ベルトガイドに正しく自動車肩ベルトを通すこと

自動車肩ベルトを、肩ベルトガイドの下を通したり、肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。

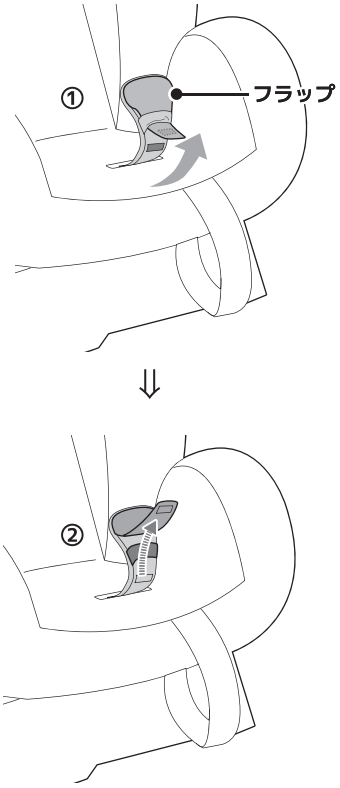


06 サイドインパクトシールドが格納されている場合、自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開きます。

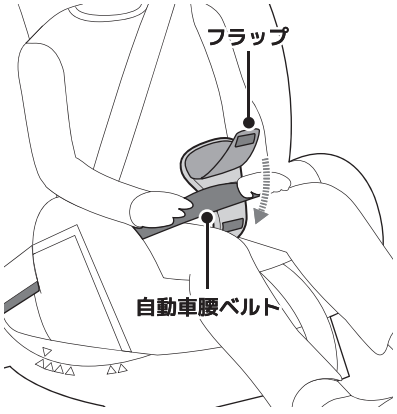
参照：P27
サイドインパクトシールドの使いかた

20170217 everystage rev 20.indd 53 2017/02/17 14:44:35

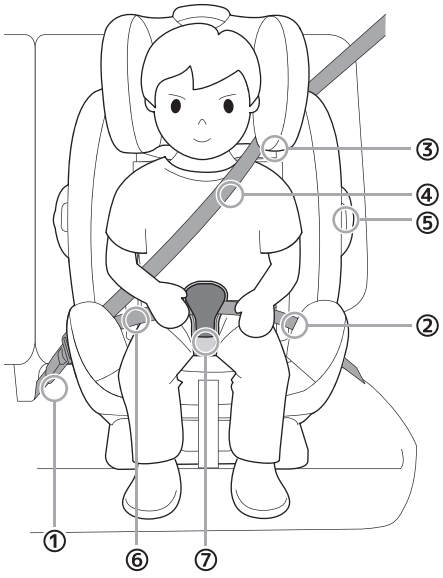
07 ①股ベルトパッドのフラップの面ファスナーを外して、②ゴムバンドから抜きます。



08 自動車腰ベルトを股ベルトパッドに乗せて、フラップを被せ、面ファスナーを留めます。自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るようにしてください。



09 以下のチェックリストを確認してから、実際にご使用ください。



チェックリスト

① 自動車バックルを正しく留めること

② 自動車腰ベルトが左右の腰ベルトパスを通っていること

③ 自動車肩ベルトが、肩ベルトパスを正しく通っていること

④ 自動車シートベルトにねじれがないこと

⑤ 自動車のドア側のサイドインパクトシールドが開かれていること

⑥ 自動車腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

⑦ 股ベルトパッドに自動車腰ベルトが通っていて、フラップで閉じられていること。

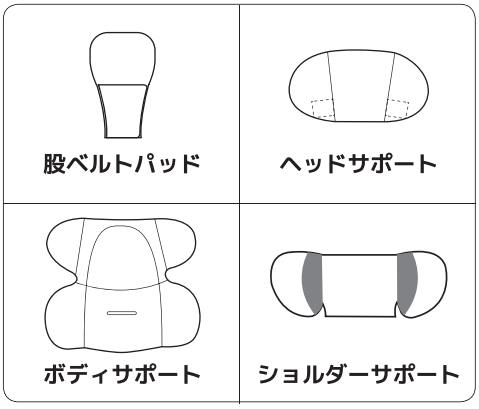
20170217 everystage rev 20.indd 54 2017/02/17 14:44:35

お手入れのしかた

お手入れのため、ソフトパッド、カバー類を取り外します。あらかじめ、本製品を座席から取り外し、車外に出してください。

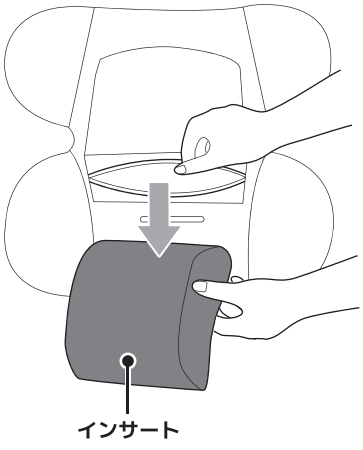
ソフトパッドの取り外し

股ベルトパッドと、ソフトパッドを取り外します。



参照：P28
ソフトパッドの使用

01 ボディサポートのインサートは、洗うことができません。あらかじめ、取り外してください。



参照：P39
ソフトパッドの取り外し

02 ソフトパッドのお手入れは、洗いかた、を参照してください。

参照：P59
お手入れ方法

03 お手入れが終わりましたら、それぞれ正しく取り付けなおしてください。

⚠注意

取り外したソフトパッドは、正しく取り付けなおすこと

取り外した股ベルトパッドとソフトパッドは、使用するモードに応じて、正しく取り付けなおしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 55 2017/02/17 14:44:35

シートカバーの取り外し

⚠警告

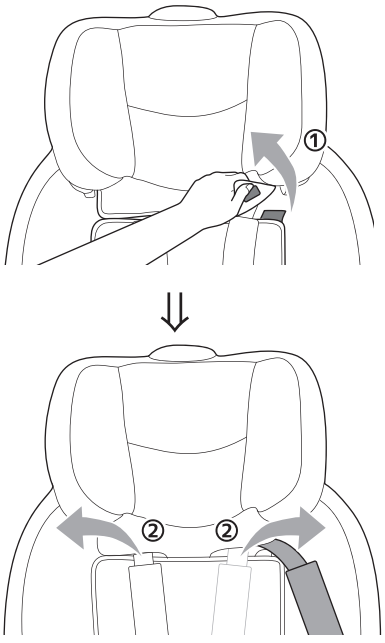
取り外したシートカバーは、必ず取り付け直すこと
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

シートカバーを取り外した状態で使用しないこと
お手入れが完了し、シートカバーを取り付け直すまでは本製品を使用してはいけません。

シートカバー以外を取り外さないこと
衝撃吸収材や、樹脂部分に接続された他の部品などは取り外さないでください。

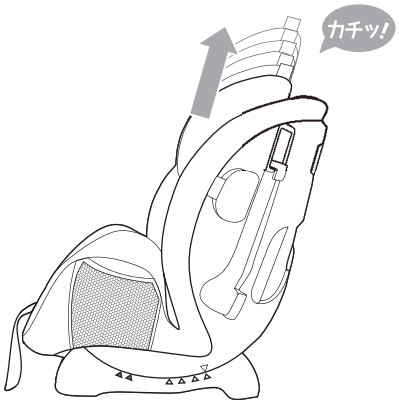
取り外しの準備

01 ベビーモード、トドラーモードの場合、あらかじめバックルを外し、①肩ベルトを留めているヘッドレスト下部の左右の面ファスナーを外し、②左右の肩ベルトを、それぞれ外側にずらして面ファスナーの間から抜きます。



ヘッドレストのカバーを取り外す

01 ヘッドレストを、最も高い位置に調節します。

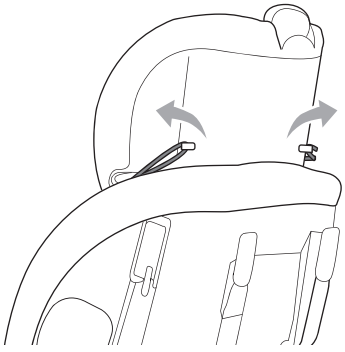


参照：P25
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

⚠注意

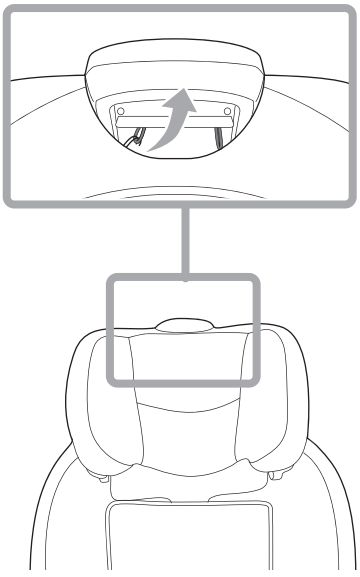
ケガをしないよう、慎重に作業すること
以降の作業では、狭い場所に手指を差し入れる必要があります。手指をケガしないよう、慎重に作業してください。

02 ヘッドレスト裏側の左右フックに留まっているゴムバンドを取り外します。

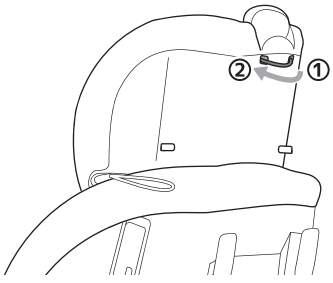


20170217 everystage rev 20.indd 56 2017/02/17 14:44:36

03 ヘッドレストアジャストレバーの根元の部分、向かって左側のフックに掛けられているゴムバンドを外します。



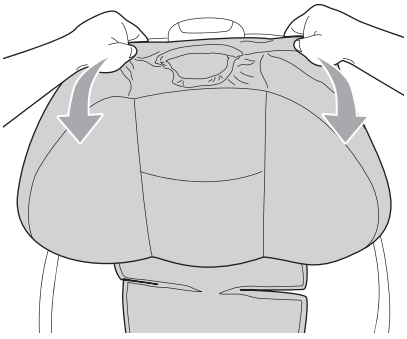
04 ヘッドレスト裏側の、ゴムバンドの通し穴から①フックから外したゴムバンド抜き、②反対側からも抜きます。



ポイント！

お手入れ後、取り付ける際には、ゴムバンドを、爪楊枝の反対側などの細い棒で押し込むようにして通し穴に差しいれてください。

05 衝撃吸収材に傷をつけないよう注意しながら、ヘッドレストの上側から、前方向にめくるようにして、ゆっくりとカバーを取り外します。



⚠注意

衝撃吸収材を破損しないようにゆっくりと取り外すこと

勢いよく取り外すと、衝撃吸収材が破損したり、ヘッドレストのカバーが破損したりするおそれがあります。

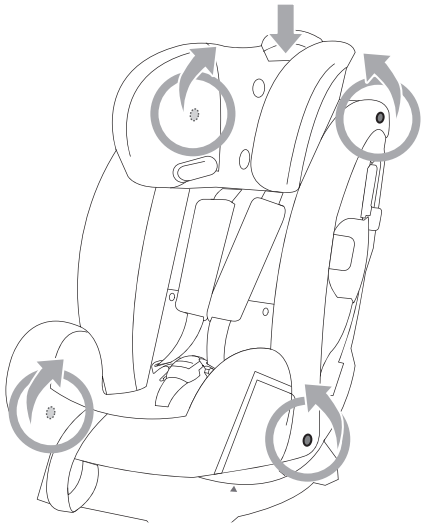
引っかかった感じがする場合は、無理をせず、引っかかりがないか確認するようにしてください。

06 取り付けは、逆の手順で行ってください。

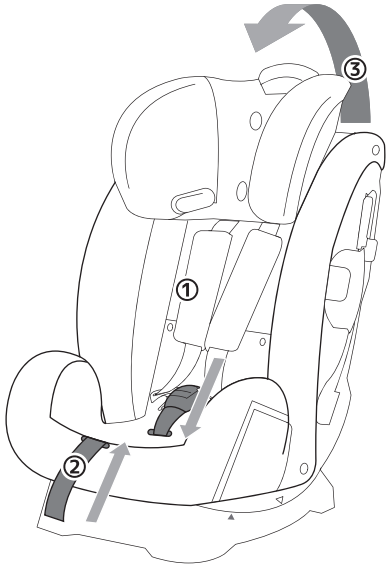
20170217 everystage rev 20.indd 57 2017/02/17 14:44:36

シートのカバーを取り外す

01 バックルはあらかじめ外しておきます。
ヘッドレストを一番下の高さまで下げ、背もたれの上部左右、座面部分の左右でシートのカバーを留めているホックボタン（合計４ヵ所）を外します。



02 ①股ベルト、②アジャストベルトを、それぞれの取り出し穴から抜き、③シートのカバーを上方向にゆっくりと取り外します。



⚠注意

衝撃吸収材を破損しないようにゆっくりと取り外すこと
勢いよく取り外すと、衝撃吸収材が破損したり、シートのカバーが破損したりするおそれがあります。
引っかかった感じがする場合は、無理をせず、引っかかりがないか確認するようにしてください。

03 取り付けは、逆の手順で行ってください。

20170217 everystage rev 20.indd 58 2017/02/17 14:44:37

お手入れ方法

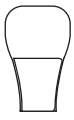
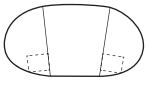
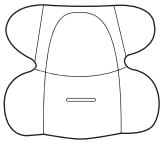
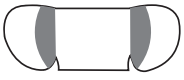
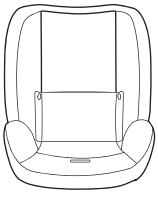
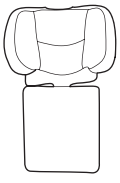
⚠注意

取り外した、パッド類、カバー類は、お子さまの手の届かない場所でお手入れ、保管してください

お子さまが口にしたり、おもちゃにするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。パッド、カバー類を取り外した本製品は使用できませんので、同じく、お子さまの手の届かない場所で保管してください。

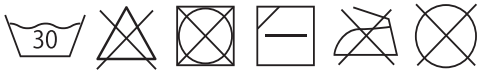
パッド、カバー類の洗いかた

取り外したのパッド、カバー類は洗うことができます。

 股ベルトパッド	 ヘッドサポート
 ボディサポート	 ショルダーサポート
 シートのカバー	 ヘッドレストのカバー

01 以下の表示に従って、シートのカバー、ヘッドレストのカバー、ソフトパッドを洗います。

- **30℃以下の水で洗ってください。**手洗いの上、軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- **アイロンは使用できません**
  破損、縮みの原因となります。
- **タンブラー乾燥はしないでください**
  破損、縮みの原因となります。
- **ドライクリーニングはできません**
  破損、縮みの原因となります。
- **有機溶剤、原液の中性洗剤を使用しないでください**
  ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。
- **漂白剤は使用できません**
  劣化を早め、変退色の原因となります。
- **きつく絞らないでください**
  型崩れ、変形の原因となります。



⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でシートカバー、ヘッドレストのカバー、ソフトパッドを洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

20170217 everystage rev 20.indd 59 2017/02/17 14:44:37

ベルト類・本体のお手入れ

01 お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。
汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。
洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。
以下の表示に従って、お手入れします。

- **研磨剤、有機溶剤は使用しないでください**
  クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- **水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください**
- **潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください**
- **市販のウエットタオル（ウエットティッシュは使用しないでください。）**
  含まれる成分によっては、樹脂部品に悪影響をおよぼすおそれがあります。

⚠危険

絶対に潤滑剤を使用しないこと

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

⚠注意

濡れたままカバー類を取り付けないこと

さび、かび、劣化の原因となりますので、カバー類は十分に乾かしてから本体に取り付けてください。また、本体を濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

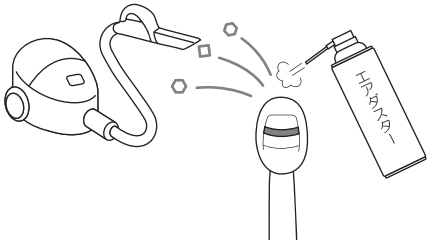
ベルト類・衝撃吸収材（発砲フォーム）は取り外しできません

ベルト類・衝撃吸収材など、本書に指示のない部位、部品は、本体から取り外さずにお手入れしてください。

受けバックル・差込タングのお手入れ

01 受けバックルの表面と差込タングは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

02 受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



⚠危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タング、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。

バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ！と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

20170217 everystage rev 20.indd 60 2017/02/17 14:44:37

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を座席から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。
また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

20170217 everystage rev 20.indd 61 2017/02/17 14:44:37

20170217 everystage rev 20.indd 62 2017/02/17 14:44:37

本製品に関するお問い合わせ先：株式会社カトージ　お客様サービス
電話：0568-67-5701　平日 10 ～ 17 時（土日祝日を除く）
http://www.katoji.co.jp/

（輸入販売元）
株式会社カトージ
〒484-0894　愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

20170217 everystage rev 20.indd　63　2017/02/17　14:44:37

Joie™

20170217 everystage rev 20.indd 64 2017/02/17 14:44:37